

箆柄ノ出品ハ新潟縣ノ出品一アルノミ此レ評スヘキ程ノモノニアラス

「バツタン」ハ富山縣、愛知縣、新潟縣等ヨリ出品セラルル何レモ其運動傳達ヲ唯一ノ目的トシ材料ノ強弱等ニ一顧ヲ費サ、リシハ惜ムヘシ富山縣出品ノ整經臺ハ從來使用セラレツ、アルモノト全ク同一ニシテ進歩ノ跡ヲ認メス此ハ横經、及ヒ立經ニ比シ更ニ改良セラレタルモノナリト雖モ未タ完全ナルモノト云フヲ得ス經糸伸張度平均セサルノ恐レアルヲ以テナリ京都府ノ「ジャツカード」織機多少其構造ヲ變化セル所アリト雖モ有益ナル改良ト稱スヘキ程ノモノニアラス高知縣ノ織機其考案見ル可キ處ナキニ非サレトモ多クハ運動傳達ノミニ務メタルモノ、如ク其運動タリ形狀タリ共ニ改良スヘキノ箇處蓋シ尠少ニアラサル可シ。

第十五類 刺繡

本類ノ出品ハ其點數二百二十九點其人員五十名ニシテ京都府、石川縣其三分ノ二ヲ占ム愛知、大阪、德島、富山、高知、福井之レニ次ク其他ノ府縣ヨリハ一點ノ出品ヲ見ス何レモ前回ニ比シ技術ノ進歩見ルヘキモノニ乏シカラス彼ノ京都府ノ額類、石川縣ノ輸出向ハンカチーフノ如キ其然カルモノニシテ各府縣ノ出品ニ就キ其評ヲ試ムレハ左ノ如シ

京都府 本府出品ノ主ナルモノハ額類、半襟、重掛ノ類ニシテ就中額類ハ其技術緻且ツ微ニ入り筆端ヲ以テ畫ク處ノ繪畫ヲ壓シ眞ニ繡畫ノ域ニ進ムノ傾向アリ然レトモ尙ホ遠近其宜シキニ適セス濃淡

其當ヲ得サルモノアリ今一層留意スル所アランニハ其進歩期シテ待ツヘキノミ半襟類モ又其意匠ニ

於テ著シク進歩セルモノ少ナカラスト雖モ時ニ配色ノ妙ヲ欠キ縫糸ノ不揃染色ノ不良ハ顯然其出品ノ上ニ表ハレタリ宜シク其材料選擇ニ注意セラレンコト願ハシケレ

石川縣 本縣ハ刺繡ハンカチーフ其主ナルモノニシテ團扇等之レニ次ク前回ニ比シ進歩ノ跡明カニシ

テ見ルヘキノ多クアリト雖トモ未タ縫糸ノ選擇ヲ缺クルモノ多キト染色ニ注意セサルノ結果ハ著シク褪色セル青色綠色等ノモノ多クアルヲ認メタリ此レ當業者ノ一考ヲ要スヘキ處タリ

愛知縣 ハンカチーフ德島縣ノ屏風用刺繡富山縣ノ打掛大阪府ノ半襟、額類福井縣ノ半襟高知縣ノハンカチーフ類ハ何レモ良工ヲ聘シ進歩ヲ謀ルノ結果稍ヤ見ルヘキモノナキニアラスト雖モ尙ホ作圖ヲ擇ミ原料ヲ精選スルニ於テハ蓋シ他縣ニ卓立スルヲ得ヘキ事何ノ疑カ之レアラン

第十六類 段通及油圍

本類ニ屬スル出品ハ點數ニ於テ百六十三點出品人員三十六名ニシテ其種類ハ綿製、麻製、羊毛製、粗絹製、天蠶製等ノ段通ニシテ大阪府、兵庫縣尤モ多ク京都府、福井縣、富山縣之ニ次キ他ハ一モ其ノ出品ヲ見ス

大阪府及兵庫縣出品ニ就テ見ルニ今回ノ綿段通、麻段通、羊毛段通等ハ全体ニ於テ組織佳良意匠緻密ヲ極メ整理又惡シカラス染色ニ於テ不完ノ嫌ナキニアラスト雖モ概シテ實用ニ適セルモノナリト信ス

織物、機具、染物、段通、刺繡及油圍審査復命書



就中羊毛段通ニ於テ殊ニ然リトス又價格ノ廉ナルハ技術ニ一段ノ進歩ヲ加ヘシヲ知ルニ足ルヘシ粗絹製、天蠶製ノ如キハ外觀甚タ美ナリト雖モ殊ニ評スヘキモノナシ之ヲ要スルニ今回ノ出品ハ概テ普通品所謂實用的ノモノ其多數ヲ占メ一二精巧ヲ盡シタル美術品ナキニアラスト雖モ英國向麻製米國向綿製ノ如キ主トシテ意匠ヲ「ベルシヤ」模様土耳其其模様ニ則リ一般ニ虚飾ヲ去リ實用ヲ旨トシタルハ近來眼ヲ外國貿易ニ注キ製造家ノ意向一變セシヲ知ルニ足ルヘシ  
他府縣出品ノモノ及ヒ油團ニハ殊ニ論評スヘキモノナシ

第十七類 染物

本類ノ出品數ハ二千五百三十二點出品人三百六十六人ニシテ京都府其三分ノ一ヲ占メ石川、富山、愛知、大阪、新潟之ニ次ク前回ニ比シ點數人員共ニ増加セリ技術ノ進歩トシテ見ルヘキハ京都府ノ綿ネル捺染大阪府ノモスリン友染愛知縣ノ「シルケット」絞染トナス其餘一般技術ノ年々進歩セルハ事實ナリ尙各府縣ニ就テ評言セハ左ノ如シ  
京都府 本府出品ノ重ナルモノハ天鷲絨友仙、縮緬友仙、無地染、小紋染、手拭染、鹿ノ子絞、更紗形染、綿ネル捺染等ニシテ就中綿ネル捺染、瓦斯紅絹染、シルケット黒紋付染等ハ今回ノ出品中珍奇ナルモノナリトス縮緬友仙ハ之ヲ第六回ノ出品ニ比スレハ優品ニ乏シ唯近年寫眞色ヲ應用セルハ斯業界ニ於ケル一進歩ト認ムヘキカ黒染、紅染、裏地染等年々改良進歩ノ形跡アリ

大阪府 モスリン友仙ハ近年著シキ發達ニシテ意匠ノ斬新ナル染色技術ノ精巧ナル轉タ歎賞ニ堪ヘサルモノアリ手拭染モ多數ノ出品アリテ販路ノ擴張ニ伴フテ技術并ニ意匠ノ進歩セルヲ見ル裏地并ニ更紗袴衣地ニ於テハ技術進歩ノ認ムヘキモノアレトモ特ニ稱スヘキモノナシ木綿紅色板染ノ「ロ一ダミン」染料ヲ用フルカ爲會場内ニ於テ已ニ光線ニ感シテ褪色セルモノアリ此欠點ハ各府縣共多少アリタリ營業者ノ一考ヲ要スヘキナリ

石川縣 友仙染及裏地無双羽織等ヲ主トス裏地染ハ之ヲ前回ノ出品ニ比較スルニ成蹟ノ見ルヘキモノアルモ尙東京、京都、大阪ノ裏地染ニ比シテ遜色アリ友仙染ハ暖簾、服紗、屏風、掛軸等ヲ主トシ衣服用トスヘキモノナシ掛軸、暖簾、友仙ノ如キハ繪畫トシテハ見ルヘキモノ之ヲ染色技術殊ニ之ヲ工業上ノ物品トシテ見ル時ハ未タ遺憾トスル所アリトノ評アルヲ免カレス爰ニ石川縣ノ營業者ニ望ム將來染色ハ單ニ意匠ノミニ固着セス進ンテ防染法及浸染法ニ於テ一層研究スル所アランコトヲ

富山縣 一般ニ第六回ニ比スレハ出品點數増加シ染色技術ノ漸ク發達セルヲ見ル然レトモ其染色ノ多クハ霽模様ニ係リ單ニ意匠ノ一方ノミニ走り染色ノ方法等ニ至リテハ少ク放擲ノ慊アルヲ免カレス意匠ノ巧拙ハ斯業ニ大關係ヲ有スルハ素ヨリナレトモ各種染料ノ適用防染浸染法仕上法等ハ又忽ニ附スヘカラサルモノナリトス之又石川縣ト全樣營業者ノ注意ヲ望ム

愛知縣 主ナルモノヲ有松絞、友仙染、更紗染トナス有松絞ノ「シルケット」櫻絞近來ノ上出來ナリ久



田某ノ出品ニ係ル孔雀繪羽絞ハ技術巧妙真ニ掬スヘシ此絞方法ハ古來ノ方法ト異ナル所ナキモ之ヲ其「シルケット」布地ニ應用セルハ甚可ナリ

友仙染ハ往々胡粉ヲ塞抹セルモノアル故ニ衣裳トシテハ稍々不適ノ感アリ斯カル塗料ヲ用ヒスシテ白色ヲ表サシコト望マシケレ其他紫色其他ノ染色ニシテ光線ニ堪ヘサル色素ヲ採用セルモノアリ縮緬ノ如キ高價ノ布地ニ褪消シ易キ染色ヲナスハ需要者ニ對シテ甚タシキ不親切ト云ハサルヲ得ス

德島縣 全縣出品ニ係ル鳴門絞ハ稍々見ルヘキモノアリト雖モ有松絞ニ比シテ頗ル遜色アリ其余ノ染色ニ就テハ更ニ稱スヘキモノナシ

兵庫縣 高砂染、温泉染等アリ逐次進歩ノ形跡アリ

島根縣 今回初メテ染物ノ出品ヲ見ル製品トシテハ未タ良巧ノモノアラサルモ將來發達ノ見込アリ價格稍々高キニ失スルノ慍アリ將來一層ノ奮勵ヲ望ム

高知縣 數種ノ出品多クハ黒色染トナス前回ニ比シ進歩ヲ認メス價格モ稍高キニ失スルノ感アリ紋染法ニ於テハ紋部ノ區劃鮮明ナラスシテ染液ノ防糊中ニ浸入セルモノアリ

廣島、香川、岡山ノ三縣ヨリ少數ノ出品アリタルモ特ニ評スヘキモノナシ  
愛媛、山口、奈良ノ三縣ハ出品一モナシ

花莖及麥稈眞田審査復命書

第七回關西府縣聯合共進會出品花莖及麥稈眞田審査官トシテ富山縣へ出張ノ命ヲ奉シ本年六月廿九日東京ヲ出發シ全三十日該會開設地タル富山市ニ到着シ七月一日該會ノ開會式ニ臨席シ直チニ審査法等ノ編制ニ着手シ全十二日ヲ以テ審査ノ準備畧成ルヲ以テ審査員ヲ召集シ審査項目及其方法ヲ説示シ直チニ現品ノ審査ニ從事セシム今花莖類及麥稈眞田審査員ノ姓名ヲ掲レハ左ノ如シ

花莖類審査員

- 兵庫縣 小倉庄太郎
- 岡山縣 鹽津要平
- 石川縣 三島六平
- 富山縣 廣瀬辰一
- 廣嶋縣 兒玉彌二郎

麥稈眞田審査員

- 兵庫縣 中井政七
- 岡山縣 原田伊之助
- 香川縣 小野麟吉
- 高知縣 河野政吉



右ノ外書記二名アリ七月三十一日ヲ以テ審査ヲ結了シ八月五日該會褒賞授與式ニ臨ミ八月九日歸京セリ今ヤ關西府縣聯合共進會審査報告成ルヲ以テ別冊報告書相添ヘ茲ニ謹テ復命ス

明治三十三年九月 日

第七回關西府縣聯合共進會審査官

農商務省特許局審査官

本野 英 吉 郎

農商務大臣會禰荒助殿

花菴審査報告

本會ニ花菴類ヲ出品シタルハ聯合府縣中兵庫、廣島、島根、新潟、山口、香川、石川、岡山、福井、高知、富山ノ十一縣ニシテ其出品人員ハ四百二十二名ニシテ出品點數ハ九百三十七點ナリ前回ノ共進會ニ比シ出品人員及出品點數共ニ減少シタルハ要スルニ生産地ノ多クカ開設地ニ遠隔セルニ依ルナル可シ而シテ出品ノ最モ多キハ岡山縣ニシテ石川縣次位ヲ占メ廣島、島根、富山ノ三縣之レニ次キ其他ノ諸縣ハ出品極メテ僅少ナリトス而シテ花菴ノ出品最モ多ク豊表、吳莖類之レニ次ク花菴ニ於テ優等ナリシハ岡山縣ニシテ廣島、香川ノ二縣其次位ヲ占メ廣島、島根、富山ノ三縣之レニ次キ其他ノ諸縣ハ出品極メテ少數ナリトス而シテ花菴ノ出品最モ多ク豊表、吳莖類之レニ次ク花菴ニ於テ優等ナリシ

ハ岡山ニシテ廣島、香川ノ二縣之レニ次キ石川、島根、富山ノ三縣又之レニ次ク其他ノ諸縣ノ出品中見ルニ足ルヘキモノナキハ出品點數ノ極メテ僅少ナリシニ依ルモノナリ豊表ニ於テ優位ヲ占タルハ廣島縣ニシテ島根及岡山ノ二縣之レニ次キ其他ノ諸縣ニ至テハ別ニ見ルヘキモノアルナシ從來花菴ニ於ケル第一ノ缺點タリシ物品ノ不揃ナルコト即チ組織ノ疎密着色ノ濃淡模様ノ大小幅員ノ廣狹等ノ一定セサルハ前回ニ比シ稍改良ノ跡アルヲ認ムト雖モ染色ノ不強固ナルト製織ノ緻密ヲ缺クニ至テハ未タ頗ル遺憾ナキ能ハス本會ノ出品中最優等ノモノニ就キ其着色ノ如何ヲ試驗セシニ何レモ不完全タルヲ免カレス營業者宜ク之レカ學理的研究ヲ積ミ完全ナラシムルニ勉ム可シ組織、色澤、意匠、模様等ノ相伴ハサルハ前回ノ出品ニ比シ未タ著シキ改良ヲ施シタル形跡ヲ認ムル能ハス原料ノ乾燥其宜シキヲ得ス出品中微ヲ生セサルモノ殆ント稀ナリ之レカ改良ヲ計ルニアラスンハ海外多額ノ需用ニ應スルコト蓋シ難事ナル可シ茲ニ審査ノ結了ニ際シ賞ヲ擬スルモノ一等一名二等四名三等七名四等十名五等十九名六等三十二名合計七十三名ニシテ出品人員ノ壹割六分強ニ當レリ今ヤ出品ニ就テ府縣別批評ヲ掲クレハ左ノ如シ

兵庫縣 本縣ハ出品人員僅カニ二名ニシテ出品點數モ二點ニ過キスシテ何レモ品位中等以下ニ位シ別ニ評スルニ足ルモノナシ

廣島縣 本縣ノ出品ニ係ル花菴類ハ其品質概シテ佳良ナリト雖モ前回ニ於ケル物品ニ比シテハ敢テ著



シク進歩シタル形跡ヲ認ムル能ハス其出品ノ多數ハ寧ロ粗雜ニ失シタルハ較遺憾トスル所ナリ疊表及ヒ吳莖等ハ本縣ノ出品ニ係ハルモノ其最上位ヲ占メ品質製作共ニ非難スヘキノ點少ナク古來備後表ノ名ニ耻チサルナリ而シテ本縣ノ出品ニ係ハル蘭原料ハ概シテ疊表ニ適當シタルモノナルモ花莖ノ原料トシテハ寧ロ岡山縣產出ノモノニ比シ較劣等ニ位シ石川縣產出ノモノト相伯仲セリ

島根縣 本縣花莖類ノ出品ハ其製造業ノ發達日尙ホ淺キニモ拘ハラズ頗ル多數ナリシハ大ニ嘉ミスト雖モ品質意匠共ニ海外需用者ノ嗜好ニ適シタルモノナク輸出ノ見込少キハ遺憾トスル所ニシテ營業者ノ最モ注意ヲ加フ可キ點ナリトス然リト雖モ本縣產出ノ蘭原料ハ品質佳良柔軟ニシテ光澤ニ富ミ且ツ其纖維長キヲ以テ花莖ノ原料トシテハ最モ適當シタルモノナルヲ以テ進ンテ組織意匠等ニ改良ヲ施サハ將來ノ發達期シテ待ツ可キナリ

松表ハ石川縣若クハ廣嶋縣產出ノモノト其需用地ヲ異ニスルヲ以テ製作組織ニ至テハ多少異ナリタル所ナルモ品質ハ概シテ佳良ナリ蘭原料ハ出品僅少ニシテ別ニ評ス可キモノナシ

新潟縣 本縣ノ出品ハ僅カニ二個ニシテ何レモ中等以下ノ品位ノモノタリ一般ノ評ヲ下タス能ハス山口縣 本縣ノ出品モ僅カニ二點ニ過キスシテ別ニ評スヘキモノナシ

香川縣 本縣出品中ノ花莖ハ二三ヲ除クノ外着色組織共ニ粗雜ナルモノ多シト雖モ原料ハ多クハ岡山縣產ノモノナルヲ以テ品質モ稍々佳良ナリ產出額ノ極メテ僅少ナルハ頗ル遺憾トスル所ナリ

石川縣 本縣ノ出品ニ係ハル花莖ハ前回ニ比シ其點數モ多ク較々改良進歩ノ見ル可キモノアリト雖モ意匠着色等未タ滋苦ノ跡アルヲ免カレスシテ耳組及組織等モ完全ノモノ少ク何レモ品位中等以下ニ位スルモノナリ原料ノ栽培刈取乾燥等ニ意ヲ注キ意匠組織等ニ改良ヲ施コスニ至テハ將來海外向トシテ輸出ヲ促カスニ至ル可シ

疊表ハ概シテ組織佳良ニシテ原料ノ撰擇其宜キヲ得タルモノ少ナカラズ惜ムラクハ幅員狹クシテ未タ充分ノ需用ヲ見ルニ至ラサルヲ蘭原料ノ出品中ニハ別ニ見ルヘキモノアルナシ

岡山縣 本縣ハ本邦ニ在テ花莖業ノ鼻祖ニシテ主產地タルモ前回ニ比スレハ出品中進歩シタルノ形跡ナク全体ヲ評言スレハ意匠斬新ニシテ且ツ奇抜ト謂ツヘキモノ僅々數點ニ過キスシテ余ハ往々粗雜ノ品少ナシトセス其ノ原因ハ察スルニ先年來需用地タル北米合衆國ニ於テ苛重ノ輸入税ヲ賦課シタルカ爲メ原價ヲ制限スルノ必要生シタルモノナルヘシト雖モ當業者ハ戒心ヲ加フ可キナリ

疊表吳莖等ノ出品ハ概シテ品質組織共ニ佳良ノ品多ク各縣ニ比シテ中以上ニ位セリ然レトモ經糸少ニ過キ織込ミ緻密ナラサルカ爲メ外觀ノ優美ナルニ拘ラス耐久ノ點ニ於テ缺クトコロアルハ聊カ遺憾トスル所ナリ

本縣ノ蘭原料ハ意匠ノ緻密ナル花莖用トシテハ最モ適當シタルモノニシテ栽培刈取等其宜シキヲ得タルモノ、コトシ



福井縣 本縣ノ花苳業ハ發達ノ日尙ホ淺ク未タ習熟ヲ要スルノ時期タルヲ免カレサルヲ以テ出品モ亦優等品ニ乏シク何レモ中等以下ノモノタリ。蠶表及蘭原料等モ出品僅少ニシテ敢テ評スヘキモノアルナシ

富山縣 本縣ノ花苳業ハ近來ノ發達ニシテ重モニ岡山縣ノ製品ヲ模範トシテ製作スルモノナルモ其組織着色意匠等何レモ未タ完全ナリト謂フヲ得ス且ツ價格高キニ失シ今後銳意改良進步ヲ爲スニアラサルヨリハ海外ノ輸出得テ望ム可カラサルナリ

蠶表ハ出品僅少ニシテ何レモ品位中等以下ニ位シ尙ホ未タ幼稚タルヲ免カレス。蘭草ノ出品中概シテ色澤ノ宜シキヲ得サルハ栽培ノ未熟ナルニ依ルモノナル可シ

高知縣 本縣ノ花苳ハ出品點數モ僅少ニシテ組織意匠其他原料ノ撰擇等前回ニ比シ敢テ改良進步ノ跡ヲ認メス。蠶表ニ至リテモ亦見ルニ足ル可キモノナク唯タ本縣出品ノ蘭草ハ其質堅牢ナルト價格低廉ナルヲ以テ劣等ノ蠶表及ヒ花苳用トシテ最モ適當ナリトス

今マ參考ノ爲メ府縣等別授賞者人員表ヲ左ニ掲ク

府縣名	一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	五等賞	六等賞	出品人員數	出品者百ニ對スル者
兵庫縣							二	二
廣島縣	三		三	三	一四	一〇	一六	〇三
廣島縣								七

府縣名	一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	五等賞	六等賞	出品人員數	出品者百ニ對スル者
島根縣							一三	七
新潟縣							二	二
山口縣							一	一
香川縣							二	三
石川縣							二	三
岡山縣							三	九
福井縣							五	九
高知縣							一	七
富山縣							九	六

麥稈眞田審査報告

本會ニ麥稈及麥稈眞田ヲ出品シタルハ聯合府縣中京都、大阪、兵庫、廣島、嶋根、山口、香川、愛媛、岡山、高知、徳島、富山ノ二府十一縣ニシテ出品人員ハ千百六十七名其出品數ハ一千九百廿一點ニシテ香川縣ノ出品最多數ヲ占メ本會麥稈眞田出品總數ノ五割強ニ當レリ次ハ岡山縣ニシテ出品總點數ノ二割強ヲ占メ大阪府及ヒ高知、廣島ノ二縣之レニ次キ其他ノ府縣ハ出品頗ル少數ナリトス。出品ノ重モナル種類ハ前回ト全ク七角五角四菱等ニシテ七角最モ其多數ヲ占メタリ而シテ其他ノ種類ハ頗ル少數ナリトス。今マ出品ノ優等ナリシハ岡山及香川ノ二縣ニシテ其他ノ府縣ニ至テ敢テ優等ノ出品少ナカリシハ遺憾トスル所ナリ。前回ノ出品中一、大欠點タリシハ、秤尺ノ不定ナリシコトナルカ今回ノ出品



ニ就テ之ヲ觀察スルニ大ニ改ムル所アリシハ頗ル好ミス可シト雖モ未タ梓尺不定ノ品少シトセス當業者ハ須ラク相戒メテ之レカ改革ヲ計カル可キナリ  
 麥稈原料ノ多數ヲ出品シタルハ香川縣ニシテ其他ノ府縣ハ殆ント皆無ニシテ審査ノ際他ノ府縣ト對比シ優劣ヲ判定スルコト能ハサリシモ品質概シテ不良ナラス而シテ麥稈原料ノ田畑ヨリ苴取タル儘ノモノ極メテ少ナク多クハ漂白ヲ施シ若クハ班點ヲ除キタル加工品タリシヲ以テ原料審査ノ際ハ價格ノ高低其他二三ノ事故ニ據ルノ外ナク將來該品出品ノ如キハ田畑ヨリ苴取リタル現品ヲ以テ之レニ充テテ栽培ノ優劣等ヲ判定シ易カラシメンコトヲ望ム

本會ノ出品ニ係ル麥稈ノ漂白ハ各府縣ノ出品ヲ通シテ概テ佳良ニシテ其技術ノ大ニ進歩シタルヲ認ムルニ足ルモノアリテ麥稈審査ノ際ノ如キハ殆ント其優劣ヲ判定スルニ苦シメリ然レトモ二三府縣ノ出品ハ其成績未タ不良ナルモノ少ナシトセス當業者之レカ改良ヲ怠タル可カラズ製作上ノ要素タル撰別分別ハ完全ナルモノ前回同様少カリシハ實ニ惜ム可キナリ

麥稈眞田ノ出品ニアリテハ香川縣最多數ヲ占メ岡山縣及高知縣之レニ次キ愛知縣ノ如キハ多數ノ同業者ヲ有スルニモ不拘本會ニ出品シタルモノ比較的小數ナリシハ遺憾トスル所ナリトス其他ノ府縣ニ至テハ出品點數ニアリテモ將又出品ノ品質ニ至リテモ前回ニ比シ敢テ著シキ進歩ノ跡ヲ認ムル能ハス本會ニ於テ前會ニ比シ稍々長足ノ進歩ヲ爲シタリト認ム可キハ香川縣ニシテ出品點數并ニ優等品ノ多キ

ハ當業者勉勵ノ結果ナリトス岡山縣ニ至リテハ其出品點數前回ニ比シ僅少ナリシモ他ノ府縣ニ比較スレハ優等ニシテ毫モ劣ルコトナク優品多數ナリシハ大ニ改良進歩ノ認ム可キモノアリ  
 審査ノ結果賞ヲ擬スルモノ二等五名三等八名四等十六名五等二十七名六等六十五名合計百二十一名ニシテ出品人員ノ壺割強ニ當レリ左ニ府縣等級別授賞者人員表ヲ掲ク

府縣名	一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	五等賞	六等賞	出品人員數	出品者百ニ對スル者
京都府							二七	二六
大阪府							二六	
兵庫縣							五二	
廣島縣							六三	一六〇
島根縣							九〇	三〇〇
山口縣							二二	九〇
香川縣		二	四	一	八	二	九六	八二
愛知縣							一三	三三
愛媛縣							一三	三三
岡山縣		三	四	六	七	一	四一	二一八
高知縣							一四	二一八
徳島縣							八二	六三
富山縣							三二	五〇〇
							四四	二〇八

麥稈眞田審査報告



陶磁器審査復命書

第七回關西府縣聯合共進會出品陶磁器審査ノ概況ヲ記シ謹テ閣下ノ電覽ニ供ス

明治三十三年九月十五日

第七回關西府縣聯合共進會陶磁器審査官

農商務技手 小泉角五郎

農商務大臣曾爾荒助殿

陶磁器審査報告

第七回關西府縣聯合共進會出品陶磁器ハ二千九百二十二點此出品人員三百五人ニシテ石川縣ハ品數及ヒ人員ニ於テ殆シ、其半ヲ占メ奈良、徳島、廣島ノ三縣ハ一點ノ出品ナシ  
出品ノ多數ナルハ石川、島根、京都、愛知、兵庫ノ一府四縣ニシテ岡山、高知、愛媛、山口ノ四縣之ニ次キ大阪、新潟、福井、香川、富山ノ如キハ出品人員甚タ少シ抑今回ノ出品ニ就テ之ヲ見レハ一般ニ進歩ノ趨勢ヲ來タシ工作圖樣ニ改良ヲ加ヘ佳趣ノ見ルヘキモノアリト雖モ特ニ優逸ト稱スヘキモノナシ左ニ府縣別ニヨリ審査ノ概評ヲ列記スヘシ  
京都府 出品ハ主ニ清水磁器、粟田陶磁器等ニシテ其品種ハ美術的裝飾品及ヒ日用品ニ屬シ概シテ形狀意匠稍可ニシテ優雅ノ趣味ヲ呈スルモノ少ナカラス清水磁器ハ其各種ノ製品何レモ新規ノ考案ト

稱スヘキモノナシト雖モ高橋道八出品萬曆風繪付花瓶、三浦竹泉出品金彩八珍果鉢ノ如キ温雅ニシテ見ルヘキノ佳品ニ乏シカラス

粟田焼ハ其製品優美ニシテ佳趣ナルモノ多ケレト今回ノ出品ニ於テハ特ニ優逸ノ佳作ヲ見ス伊東陶山、錦光山宗兵衛出品共ニ温雅ノ作タルヲ失ハサレトモ斬新ノ意匠ニ乏シク或ハ釉藥ノ熔融其適度ヲ得サルカ故ニ光澤ノ發揮充分ナラサルノ觀ヲ呈スルモノアリ深ク當業者ノタメニ惜マサルヲ得ス要スルニ清水、粟田ノ製品ハ益々意匠ヲ凝シ専ラ改良ヲ加ヘ美術的工藝品ノ本領ヲ發揮センコトヲ力ムヘキナリ

大阪府 出品ハ石器及繪付陶器等ニシテ其數甚タ少シ藪明山出品農業圖花瓶ハ彩描周密ニシテ筆力巧緻ナリ清雅ノ趣ニ乏シト雖モ此種ノ製品能ク外人ノ嗜好ニ投合スト云フ

兵庫縣 出品ハ淡路焼、自凝焼、出石焼、明石焼及ヒ神戸繪付磁器等ニシテ其種類ノ多キ場中第一トス尙本縣ニハ有馬郡三田ノ青磁焼ナルモノアレトモ今回ハ其出品ヲ見ス

淡路焼ハ多クハ廉價ナル輸出向及内國向ノ日用品ニシテ概ネ普通ノ製作ニ係リ特ニ新案ヲ見ス  
淡路製陶株式會社出品自凝焼ハ常ニ意ヲ改良ニ注キ精良ノ製品ヲ出サンコトヲカムルノ跡歷々見ルヘク熱心眞ニ感スヘキモノアリ然レトモ素地未タ堅硬ナラス、釉藥亦學製ヲ生スルナキヲ保シ難シ、加之含鉛釉藥亦之レカ改良ヲ施サ、ルヲ得サルノ機ナシトセス然ラハ則チ自凝焼タルモノ素地及ヒ



釉藥ニ於テ種々研究ノ餘地ヲ存スルモノト謂フヘシ

出石焼ハ白磁ヲ專ラトシ之ニ花瓣枝葉等ノ細工ヲ施スヲ特技トスレトモ此種ノ出品甚タ少ク僅ニ山崎久太郎出品竹籠葡萄細工花瓶ノ見ルヘキモノアルノミ其他白磁ノ茶具及ヒ花瓶ノ類ニ於テ見ルヘキモノアレトモ概シテ意匠ニ乏シク殆ント改良進歩ト稱スヘキモノナシ獨リ保田平三出品山水畫額皿ノ如キハ稍其面目ヲ改メ新機軸ヲ出セルモノト謂フヘシ若シ夫レ此種ノ製品ニシテ工作容易ナルヲ得ハ將來有望ノモノタルヲ疑ハス

神戸繪付ハ多クハ素磁ヲ他邦ニ求メ彩畫ヲ施シ輸出ヲ專ラトス神陶株式會社出品雪月花ノ額板ハ畫題新シカラスト雖モ構圖其宜シキヲ得タリ尙彩描ニ注意セハ一層ノ價直ヲ増サン

石川縣 出品ハ主ニ九谷焼ニシテ其出品人ノ多キ從テ出品ノ多數ナル場中ノ首ニ推サ、ルヲ得ス而シテ其品種ハ内國向及ヒ輸出向ノ日用飲食器、花瓶、置物等ニシテ多クハ濃密ナル彩畫ヲ施シ單調厭フヘキモノアリ是レ素地ノ粗惡ナルヲ蔽フ結果ニ出テタル當地錦彩畫ノ特色ナリト雖モ徒ラニ舊態ヲ固守スルニ止マリ二三ヲ除クノ外素地ト共ニ其改良ヲ見ルニ至ラサルハ最モ概惜ニ堪ヘサルナリ抑又九谷磁器ハ錦彩ニ一種特得ノ長アルニ拘ハラズ工作ノ之ニ供ハラサルモノアルハ其主因ヲ素磁撰擇ニ重キヲ置カサルノ責ニ歸セサルヲ得ス是レ錦彩畫ヲ以テ多少素磁ノ缺點ヲ隱蔽シ得ルノ便アルニヨルト雖モト姑息ノ策ニ出テタル結果ニ外ナラス當業者宜シク共同事ヲ謀リ速カニ之カ改良

ヲ圖ルヘシ

出品中普通器具ノ形狀ニハ著シキ改良ヲ認メサルモ人像ニ於テハ姿体其宜シキヲ得タルモノアリ其他九谷磁器ニ染付ヲ施シタルモノアレトモ當地ニ於テ如斯製品ノミニカムルハ勞シテ功ナキニ終ルヲ保シ難シ要スルニ九谷焼ハ將來日用品及ヒ裝飾品ノ製造ヲ主トシ素地ノ改良ヲ圖リ併セテ其特得ナル錦彩畫ノ發達ヲ冀圖センコトヲ望ム

愛知縣 出品ハ瀬戸焼、常滑焼、犬山焼、夜寒焼等ニシテ其品種ハ日用飲食器、花瓶、植木鉢、火鉢等ナリ本縣ハ全國有數ノ陶磁器製產地ニシテ其出品共ニ本會場ニ一光彩ヲ放ツヘキモノナルニモ拘ハラズ今回ノ出品ハ殆ント見ルヘキノ佳品ニ乏シク轉々寂寥ノ感ナキ能ハサルナリ其中ニ在テ稍意ヲ強クスルニ足ルモノハ獨リ加藤五助出品花瓶トス燕子花ノ葉ヲ染付ケトシ花ヲ浮彫ニシ之ニ淡彩ヲ施セルモノ其意匠斬新ナルニアラス色彩稍盡サ、ル所ナキニアラスト雖モ温雅ニシテ清爽、技自ラ凡ナラサルヲ見ルニ足ル

常滑焼、犬山焼、夜寒焼ハ普通品ノ陳列ニシテ特ニ評スヘキモノナシ或ハ云フ同縣ノ本會ニ加盟シテ其出品ニカヲ注キシヤ時期既ニ切迫シ特ニ出品トシテ製造スルノ迫ナキト其往復運搬ノ際ニ於ケル破損ヲ恐レテ高價ノモノハ可及的之ヲ避ケタリト或ハ然ランカ

島根縣 出品ハ主ニ出雲陶器ニシテ花瓶及ヒ飲食器ノ類多ク概シテ進歩ヲ認ム殊ニ其圖樣ニ於テ改良



セルモノアルヲ多トス然レトモ未タ釉底顔料ノ發色充分ナラサルト釉藥未タ完カラサルモノアルヲ惜ム深ク研究ヲ要スヘキ所ナリ

船木健右衛門出品鯉魚圖花瓶ハ其意匠新様ト云フニアラスト雖モ彩畫配色共ニ其宜シキヲ得タリ形狀ニ於テハ尙撰擇スル所アルヘシ又出品中無鉛釉ノ製品アリ今尙試驗中ニアルヲ以テ完全ナルヲ得スト雖モ益研究ヲ重ネテ完成ヲ期スヘシ

愛媛縣 出品ハ主ニ砥部焼ニシテ其品種ハ花瓶、水盤、火鉢、日用飲食器等ナリトス而シテ其日用品ハ多クハ型繪ノ染付ニシテ價格頗ル廉、品質亦賢硬ナリ當業者益々之レカ改良ニ注意セハ輸販ノ進路ヲ擴張スル更ニ大ナルヘシ

向井和平出品淡黃磁ハ一種ノ温雅ヲ帶ヒ益々進歩ノ傾向アリ然レトモ意匠工作ノ尙至ラサル所アルヲ惜ム尙后此點ニ注意シ益々改良ヲ施シ本品ノ發達ヲ計ルハ尤モ留意スヘキ要點ナリトス

岡山縣 出品ハ伊部焼、虫明焼トス伊部石磁ハ置物、花瓶、日用器ノ類ナリト雖モ工作及燒成粗雜ニシテ意匠亦拙劣殆ント見ルニ足ルモノナシ當業者宜シク製造ノ方針ヲ定メ本品ノ發達ヲ圖リ昔日ノ聲價ヲ恢復スルニ勉ムヘキナリ

虫明焼ハ一種ノ雅趣ヲ有シ價格相當ニシテ實用ニ適ス益々意匠工作ノ改良ニ注意スルヲ要ス

山口縣 出品ハ主ニ萩焼ニシテ茶器ノ類多ク其出品何レモ舊態ヲ守リ依然トシテ進歩ノ跡ヲ認メスト

雖モ雅趣擗スヘク製作亦佳ナルモノアリ

高知縣 出品ハ日用器具、火鉢及ヒ尾戸焼ト稱スル茶器ノ類ナリ尾戸焼ハ一種ノ雅味ヲ有シ茶家ノ愛玩ニ堪ユヘキモノアリト雖モ尙意匠工作ノ至ラサルモノアリ將來ノ注意ヲ要ス

日用器具類ハ品質堅硬價亦廉、能ク實用ニ適スヘシ

新潟縣 出品ハ無名異焼、米谷焼トス無名異焼ハ支那風ノ茶器、花瓶等ヲ模作シテ一種ノ雅致ヲ供ヘ形狀尊雅ナルモノ多ケレト今回ノ出品ニハ優美ニシテ工作巧ミナリト稱スヘキ逸品ヲ見サルヲ惜ム米谷焼ハ一種ノ雅品ニ屬スト雖モ質甚タ脆弱ニ過ク宜シク其質ヲ堅硬ニシ實用ニ適センコトヲカムヘシ

香川縣 出品ハ焜爐、火消壺ノ類ニシテ出品者僅ニ一名特ニ評スヘキモノナシ

福井縣 出品ハ日用器具、瓶類ニシテ品質堅硬價亦廉ナリト雖モ工作尙幼稚ナリ須ラク研修ヲ重ヌヘシ

富山縣 出品ハ繪付磁器及日用品ノ類ニシテ見ルヘキノ製品ニ乏シ概シテ本縣ノ陶磁器ハ尙幼稚ノ境遇ニアルモノ、如シ

漆器及金屬器審査復命書

第七回關西府縣聯合共進會第二十一類漆器及第二十二類金屬器審査報告別冊ノ通記述候ニ付呈進仕候



第六回審査報告ニ比スレハ頗ル詳細ヲ加ヘ候間篤ト御熟閱相成度此段及復命候也

第七回關西聯合府縣共進會

明治三十三年十月十六日

審査官 富山縣技師 大 森 惟 中  
全 特許局審査官補 岡 本 勝 元

農商務大臣會禮荒助殿

漆器審査報告

審査官 大 森 惟 中  
全 岡 本 勝 元

本報告書ハ審査官大森惟中主トシテ之ヲ起稿ス

漆 器

第二十一類漆器ハ毎回其類名ヲ設ク聯合ノ府縣ハ京都、大阪、奈良、石川、福井、富山、兵庫、愛媛、香川、高知、島根、岡山ニシテ新ニ愛知、新潟ノ二縣ヲ加ヘタリ其漆器産地ニシテ第六回神戸共進會ニ出品セシモノ今會ニ賛同セサルモノハ和歌山ノ黒江漆鼓阜ノ飛騨春慶塗トス中ニ就テ石川縣ノ出品者最モ多ク富山縣之ニ次キ高知、大阪、香川、新潟其次ニ居リ京都、福井、奈良ハ遞ニ其數ヲ減シ兵庫愛知、島根ト相等シク愛媛、岡山ハ僅ニ二人ノミナリシ而シテ之ヲ從前ニ比較シテ工作上稍改進ノ徵

アルハ富山縣ノ諸漆器ナリ其前回ノ成績ニ及フ能ハスシテ表面退色アルカ如キ者ヲ大阪、石川、京都ノ出品トス是レ其著名ノ工人ニシテ適々世ヲ去ル者アリ又老練ノ作家ハ本年佛國大博覽會ノ出品ヲ製成シテ數月ノ精思ヲ費シ復タ本會ニ出ス製作ニ從事スル能ハス此ニ由テ會場中殊ニ寥々ノ看ヲ爲セシナラン他ノ諸縣ハ別異ノ狀ヲ見ス今各府縣ニ於ケル審査上ノ所見ヲ概言セン

京都府 ノ蒔繪ハ東山殿ノ盛時ヲ極メシ以後之ヲ繼紹スル能ハス寢ク衰頽ニ歸セントセシカ近來其退勢ヲ挽回シ東京ニ對峙センコトヲ期スルニ至レリ今回ハ山本、富田二老工ノ製品ヲ見ス前會ニ比シテ儼焉タラサル所アルハ蓋シ此ニ由ル其中三上治三郎ノ書棚ハ伊勢物語ノ意ニシテ宇津ノ山邊ト隅田川ノ渡頭トヲ布圖ス神坂雪佳氏ノ考案ニ係リ熊谷正太郎ノ所作トス甲板ヨリ扉面側面ニ至ルマテ山水ノ圖樣温雅ニシテ韻致アリ描金ノ技亦相適フ優選ニ入ル所以ナリ但其人物稍生采ニ乏キヲ覺ユ製圖家ノ注意ヲ將來ニ望マサルヲ得ス三上幸三郎ノ板文庫ハ龍田川ノ圖ニシテ千早振ノ古歌ニ依リ青貝鈔溜ヲ以テ「水くゝる紅葉」ヲ葎キ裏面ハ宗達様ノ楓樹ヲ描キ匣中ニ及ホス瀟洒愛ス可シ迎田嘉兵衛ノ松風小硯函ハ蓋面ニ謠曲ノ「シテ」ヲ立タシム其裝束ヲ寫ス頗ル工ヲ費セリ裏面ノ色紙模様ニ古歌ヲ寫シモノ其技甲面ヨリ劣ルハ別人ノ製ナルカ之ヲ要スルニ京都ノ製品ハ概シテ高尚ノ看ヲ失ハス是レ其風土ノ優雅ナル自カラ嗜好ノ殊ナルヲ致スモノニアラスヤ然レトモ此ヲ以テ東京蒔繪ノ時勢ニ隨テ革新スルモノニ視フレハ故態ニ安スルノ習アルヲ免カレシ髹漆器ノ中亦木村表齋ノ出品

漆器審査報告



ナク優等ニ位スルモノナシ黒田正玄ノ蠟色塗菊形器入ハ竹製ナルヲ以テ第二十五類ニ移シタリ  
 大阪府ノ漆器ハ第六回ニ一等賞ヲ得タリシモ安原清ノ死セシヨリ再ヒ良工ヲ得ス本會ノ蒔繪出品中  
 意匠工作ノ特ニ譽稱スヘキ者ナシ田中定次郎ノ廣蓋ハ蠟色塗ニシテ源氏貝合ヲ嵌入ス世好ニ適スル  
 ヲ見ル小國長兵衛ノ重香合ノ如キ平日地ニ浪ト千鳥ヲ描ク頗ル精細ナリト雖モ小品ニシテ其技倆ヲ  
 見ルニ足ラス東門五兵衛ノ黒塗置卓ハ其操工ニ於テ頗ル優逸ナルモ形式ハ未タ可ナリトセス芝川又  
 右衛門ノ「ボール」製漆器ハ前年京都漆工會ニ於テ最優等ノ賞ヲ得タリ爾後新機械ヲ裝置シテ事業ノ  
 擴張ヲ圖ルト聞ク而ルニ其出品ヲ見レハ別ニ驚クヘキモノナシ頗ル世ノ希望ニ負ケリ大阪合資會社  
 ノ製品モ亦然リトス向後ニ奮振スル所ナカル可カラス

石川縣ノ漆器ハ金澤、輪島、山中ノ三地ヨリ出ツ其製産額ヲ合スレハ毎年五六拾萬圓ニ上ラントス  
 而シテ金澤ハ蒔繪ノ精巧ヲ以テ輪島ハ楳地ノ堅牢ヲ以テ山中ハ價格ノ低廉ヲ以テ聞ユ余ハ前年暫ク  
 縣地ニ在リ專ラ其長所ニ由テ改良ヲ謀リタリシカ山中産ハ近來其形式ヲ換ヘテ時好ニ應セシメシヨ  
 リ年々其販路ヲ増シ盛ニ京阪間ニ輸出セリ之ヲ出品ニ徵スルニ竹内藤三郎ノ老練質實ナル和田由太  
 郎ノ壯年銳意ナル其操法並ニ觀ル可ク就中朱溜ノ均一雅美ナルハ和田氏ノ特技ニシテ山岡理八ノ内  
 黒吸物膳、椀ハ其製作ニ係レリ加フルニ挽器地ノ精巧ナル全國ニ希ナリ松野松吉ノ糸目ニ於ル筑城  
 良太郎ノ粗筋渦筋ニ於ル金田爲吉ノ千筋ニ於ル他ニ其備ヲ見ス余ハ特ニ良工ノ名ヲ世人ニ知ラシメ

ント欲ス山中ノ前回ニ比シテ進歩ノ狀ヲ呈スル此ノ如シ然カモ尙粗惡ノ原料ヲ使用シテ改メサルモ  
 ノ往々ニシテ之アリ誠メサル可カラス輪島ハ一種ノ異土ヲ産ス此ヲ塗地トシテ以テ堅牢久シキニ耐  
 フルノ効アリ其漆工又黒塗立ニ長ス宗和式揃膳具ノ世ニ珍重サレシハ之カ爲ナリ無地物ノ外沈金若  
 クハ些ノ蒔繪ヲ施シテ裝飾ス沈金ハ元來支那ノ彫法ヲ傳ハリ山水花鳥等ヲ寫ス圖樣錯然トシテ風致  
 ナク時好ニ適セス余カ在職ノ日首トシテ其素彫ニテ金色ヲ付セサルモノヲ贊稱セリ是ニ於テカ沈黒  
 ノ名アリ其工人舟掛宗四郎孤龍ト號ス尤筆意ノ彫法ニ精シ漆器象眼方ヲ發明ス余勸テ專賣特許ヲ受  
 ケシメ神戸其進會ニ出品シテ初テ賞選ニ上リ爾來漸ク世ニ愛玩セラレ輪島ノ一殊産トナレリ今回出  
 品素彫山水硯箱刀痕固ヨリ健ナレトモ遠近ニ由テ淺深ヲ分タス且ツ其外邊襍裝ニ擬セル紋樣粗大ニ  
 シテ中圖ニ相應セス其子燕導ノ猛虎彫硯箱原圖ノ筆勢ヲ失ハス頗ル生氣アリ因テ特ニ賞級ヲ陞セタ  
 リ余又創意シテ象嵌ト蒔繪ヲ合作セシム室岡順作ノ橢圓盆草花ヲ圖スルモノ是ナリ頗ル風趣アリ漆  
 工中木谷權三郎壯年ニシテ操法ニ熱心ナリ其出品蠟色塗紫檀塗等ノ器具皆佳ナリ描金ノ品ハ大抵凡  
 庸ニシテ優異ノ作ヲ見ス金澤市ノ蒔繪ハ良工ニ乏シカラス其技術ノ精詣セル京都、大阪ノ上ニ出ツ  
 前回ニハ五十嵐他次郎ノ硯箱澤田宗次ノ文庫硯箱相並テ優賞ヲ得タリ今會ハ五十嵐、松岡、淺野ノ  
 諸氏皆出品セス澤田ノ製品中亦特ニ稱スヘキ者アラス獨リ大垣昌訓ノ文庫硯箱工作上頗ル新思アリ  
 ト雖モ意匠ニ於テ缺ク所アリ五十嵐藤次郎ノ松鶴硯箱較工技ニ精シク著紛流暢ナリ研修シテ意ヲス



ンハ父ノ箕裘ヲ繼クニ足ラン此他青年中望ヲ屬スルモノ多ク槩シテ描金ノ研出ニ巧ナリ然レトモ一般ニ圖樣ノ撰擇ニ精シカラス往々陳套ニ落ツルハ憾ム可シ鶴田伊三郎ノ會席膳碗ハ原料ヲ精煉シテ製作良好ナリ且ツ其刷目ノ髹法ニ於テ一種ノ特技ヲ見ル優賞ヲ擬スル所以ナリ米永太兵衛ノ髹品又以テ鶴田氏ニ亞ク可シ

奈良縣 ノ漆器ハ舊ニ仍テ摸古ノ製品ニ富ム審査員吉田辰之助氏尤其技ニ精シケレトモ偶本會ニ出品セス其弟北村久二ノ螺鈿八脚卓ハ春日式ニ原キ夜光貝ヲ裝嵌ス彫工觀ル可シ大西勇齊ノ文庫硯箱ハ古代摸樣ヲ應用ス爛雅ノ看ヲ呈スレトモ其湊合妙ナラス只ニ温故ニ傾テ知新ノ意趣ニ乏シキカ如シ森田清太郎ノ堆朱ハ電氣器械ヲ以テ製造ス巧ニ刻紋ヲ擬出シ頗ル精采アリト雖モ價値不廉ナルカ爲賞格ニ入ラサルハ惜ム可シ吉野春慶塗ハ日用ノ器具ニ施用シ前回ニ比シテ工作ノ稍進メルヲ見ル其價又極テ廉ナリ世需ヲ擴ムルニ足ル

香川縣 ハ象谷漆器ヲ以テ名アリ堆朱存星齋ノ諸製ヲ出陳ス其中藤川新造ノ堆朱卷裏入ハ回輪狀ニ彫成ス工技殊ニ精優ナリ但刀痕少シク圭角アルヲ以テ温雅ノ趣ニ乏シ其弟藤川米造ハ本會ノ審査員タリ出品ノ菓子器ハ紅花綠葉ヲ擬シテ巧ニ堆刻ノ技ヲ施セトモ古模樣ノ配付稍繁雜ニ過クルヲ覺ユ其二人ヲ除キ他ノ出品者頗ル多シト雖モ製作幾ト一樣同似ノ看ヲ做シ繼ニ紋樣配色ノ較宜キモノ擇テ等差付スルノミ將來多少ノ新意ヲ出スコトヲ務メサルヘカラス

新潟縣 ハ髹漆ノ家具ト堆朱ノ玩器ヲ出陳シテ産額ノ多キヲ表セリ其中ニ林滿太郎ノ堆朱山水硯箱ヲ以テ尤作ト爲ス彫刻精緻ニシテ刀法力アリ有磯周太郎ノ堆朱圓形香合ハ片輪車ノ古樣ヲ模シ波勢頗ル新意ヲ參フ彫痕鮮雅ナリ他ニ木彫地ニ施髹シテ堆刻ニ擬スルモノ頗ル多シ尙シ少シク意匠ヲ加ヘテ其圖式ヲ更新セハ必ス世好ニ投スルヲ得ヘシ而カモ其計ノ此ニ出テサルモノハ思フニ之ヲ指導スル其人ナキニ因ル邪吉田廣次ノ磯草塗會席膳ハ用途ニ適スルヲ見ル出品中淺綠盆ノ如キ依然若松ノ製造ト異ナラサルモノアリ之ヲ委員ニ問ヘハ會津ノ工人ヲ雇用セリト云フ然レトモ他地ノ製品ヲ全然模倣スルモノハ縣下物産ノ特色ヲ發揮スル所以ニアラサルナリ當業者宜シク此ニ省視スヘシ  
愛知縣 ハ守隨鐘三郎ノ料紙硯箱ヲ特異ナリトス甲面ニ胡桃殼ヲ塗リ込ミ模樣ニ充ツ新意喜フ可シ但其配置ヲ平敷ニシテ側角ニ交嵌セサルハ工作ノ勞ヲ省クカ爲カ黒田茂助ノ描金蜘蛛卷裏函ハ七寶ノ圖式ヲ適用ス頗ル清雅ナリ他ハ皆普通ノ製品ニシテ評スヘキモノナシ  
福井縣 ハ若狹塗ヲ以テ著名ノ物産トス然レトモ久シク舊習ヲ固守シ別ニ進歩ノ狀ヲ見サリシカ今回出品中古川伊作ノ進物盆ハ黒地ニシテ圈劃ヲ設ケ之ニ固有ノ若狹塗ヲ施セリ是レ從前ニ於テ多ク見サル所ニシテ此ニ由テ改良ノ趣向ヲ著セハ特ニ一生面ヲ開クコトアラン越前今立郡多田仁右衛門ノ洗朱吸物碗ハ廉價ニシテ堅牢用フ可シ  
兵庫縣 ノ漆器ハ其製作亦若狹塗ニ同シク異觀ヲ惹クモノナシ唯上安文四郎ノ出品平卓較他ニ優レル



ヲ見ルノミ

高知縣 ハ出品者ノ數頗ル多キモ都テ山村農隙ノ工作ニシテ春慶塗ノ會席膳、辨當茶筒等ヲ出ス櫻皮ヲ以テ綴合ス頗ル巧ナリ相當ノ價格ヲ有ス其中較精工ニシテ需好ニ適スルモノアリ高知市小栗正氣ノ出品ハ鎌倉塗ニ類似シ一種ノ趣アリ然レトモ考案宜シカラサルカ爲ニ自ラ鄙野ノ看アルヲ免カレス宜シク識者ニ就テ其形式紋様ヲ選擇スヘキナリ

島根縣 ハ高橋益藏ノ卵殼塗小硯箱ニ論曲邯鄲ノ意ヲ描金セシモノ地方製トシテ頗ル清雅ノ作タリ犬山善次郎ハ一種ノ彩漆透模様ノ器具ヲ出陳ス夜光塗ト稱ス其中葡萄圖會席膳世需ニ適ス可シ他ハ率圖樣ノ撰擇ヲ誤リ頗ル奇異ノ看ヲ做セリ此レ亦考案家ノ注意ヲ藉ラサル可カラス

岡山縣 ハ描金ノ酒盆硯箱等ヲ出セトモ圖樣蕪雜ニシテ都人ノ眼ニ入ラス唯其瓢形ニ擬スル酒器髹色眞ヲ欺ケリ愛媛縣ハ溜塗ノ七入子切溜ヲ出ス價格極テ廉ナリ

富山縣 ノ漆器ハ其主催地タルヲ以テ縣下ノ各都市相競テ出品シタリ中ニ就テ高岡ノ銷畫塗ヲ最多シトス其製作ハ原來支那ノ骨董物ヲ模擬シ花鳥、山水等ヲ描ク山水ノ圖率ネ重疊層ヲ成シテ餘隙ヲ剩サス幾ト千篇一律ニ出ツルノ嫌アリ客年余カ來縣セシ後務テ日本山水ヲ寫サシメ其逼密厭フヘキモノヲ去テ蕭間平敷ノ景ニ換ヘ且ツ研出ノ方ヲ交ヘテ遠近自カラ濃淡ノ差アラシム駒榮善助首トシテ此改良ヲ勉メ工人三村松齋亦熱心ニ其技ヲ攻メ遂ニ高岡ノ舊貫ヲ一變シテ復タ唐山水ヲ圖スルモノ

ナキニ至レリ駒榮氏ノ出品遠山松樹ノ香盆ハ松齋カ特ニ帝室技藝員白山福松氏ニ諮リ施工セルモノニシテ景文ノ圖ヲ寫シ白漆ヲ用ヒテ故紙ニ擬ス幽遠ノ趣アリ其墨痕ノ膩潤ナル擅染ヲ經ルカ如シ丘阜ノ皴法稍精ナラサル所アルモ此新奇巧ヲ呈出ス場中ノ首選ニ入ルハ固ヨリ當然ナリ松齋タル者獨リ巳ノ才氣ヲ負マス其布圖ヲ精選シ益工技ヲ練修セハ他日ニ造詣スル所アラン石井勇介ノ菅公詩句硯箱ハ余ノ考案ニ係レリ甲面ニ青貝ニテ公カ幼時ノ五絶ヲ嵌入ス富山ノ士杉江聽松翁ノ書スル所ナリ聯綿ノ草體ヲ摹シテ能ク筆格ヲ失ハス老熟ノ技ニアラサレハ能ハス其裏面ニ短牆梅花ヲ描キ金鈔ノ月ヲ暈出ス詩意ト相叶ヘリ水滴ハ茶眞鉢ノ牛ニシテ北野社内ノ石牛ニ擬セリ秋草雙鶉額モ亦佳作トス描法幽雅ナリ父勇助名工ト稱セラレ「らるみ色」ノ地ニ著畫シテ各色ノ石材ヲ雜嵌ス世之ヲ勇助塗ト云フ兄弟吉業ヲ繼テ没シ今ニ至テ三世トス其男勇吉松林圖雲盤ヲ出ス頗ル新意アリ勇助ノ徒弟中山久男後進ノ領袖タリ五島和平出品ノ香盆ヲ製ス白漆ト草色漆ノ二料ヲ用ヒテ色紙狀ニ擬シ一ハ翠簾几帳ヲ畫キ一ハ蠟石菊花ヲ裝嵌ス梶田半古氏ノ圖ニシテ古歌ノ意ヲ寫セルナリ鉛ヲ以テ歌ノ下句ヲ表出ス優雅ニシテ清賞ニ上レリ中山菊太郎ノ蠟色塗書棚ハ甲板ト脚ト橫披卷狀ヲ做シ扉面ニ織竹ヲ描キ香盆ニ南天燭ヲ寫ス雪輪式ノ鉸具ト扉背ノ盤トヲ以テ瑩雪ノ意ヲ寓セリ其工技久男ト伯仲ノ間ニ在リ此等ノ諸作ハ從前ノ高岡ニ於テ多ク見ル可カラス況ヤ大火災ノ後ニシテ此出品ヲ成ス其勉力想フ可シ若シ夫レ縣下ニ於テ漆器ノ製造最古キモノハ下新川郡魚津町トス朱塗ノ御坊膳等ヲ以



テ兩越ノ間ニ需用セラル同業者數戸ニ過キサシモ其販額幾ト高岡ヲ陵カントス近頃余カ一タヒ改良ヲ唱ヘテヨリ俄然其規摹ヲ更張シ岸公雨ノ如キ遠ク會津ノ地ニ赴キテ視察スル所アリ出品中富士形吸物椀ハ山中ノ様式ニ依リ若松ノ豫法ヲ參シ巧ニ黃漆ヲ暈出ス之ヲ東西二京ノ商廊ニ陳列スルモ愧色ナカラントス若シ此機宜ニ乘シテ奮振セハ汽車直江津ニ達スルノ日進テ東北ノ各地ヲ領畧スル思フニ期シ難カラス此他西礪波郡石動町ニ石動漆器會社アリ鷹栖村ニ描金工舎アリ婦負郡八尾町ニ紙張貫ノ椀具ヲ製スル者アリ其出品皆需要ニ適セリ東礪波郡井波町ニ虎圖大衝立ヲ出ス者アリ製作頗ル工ナラス是レ蓋シ平常做サ、ル所ヲ做シ以テ衆觀ヲ引カント欲セルナラン抑知ラスヤ共進會ハ徒ニ虚裝ヲ炫曜スル祭儀場ニアラス宜シク自家ノ業務トスル工作品ヲ陳シテ其精粗巧拙ヲ競フヘキナリ富山市ハ從前賣樂ヲ以テ本業トシ工作品ノ首途トナルモノアラス漆器ノ如キモ概シテ他方ノ輸入ヲ須テリ増山三郎兵衛ハ市ノ塗物商ナリ蒔繪文庫硯箱ヲ出陳ス價額千九百圓ニシテ日本三景ヲ分賦セリ金澤ノ老工ニ囑シテ製作セシム描法精細ナリ飾匣ノ中ニ在テ頗ル異彩ヲ放ツト雖モ圖樣ノ新想ナキヲ奈如セン倘シ此巨資ヲ投シテ市内ノ工人ヲ督勵セハ必シモ觀ルヘキ者ナシトセス其況ク世用ニ應セシハ疑ナシ余ハ増山氏ノ爲ニ之ヲ惜ム小林徳三郎ノ料紙硯箱ハ蠟色地ニ切金ヲ用ヒテ舞子、須磨ノ景物ヲ嵌裝ス從前未タ見サルノ新施工トス然レトモ甲面錯落トシテ韻致ニ乏シク且ツ其價モ隨テ貴キヲ致ス作者ノ爲ニ取ラサルナリ之ヲ要スルニハ山水花鳥等ノ圖ヲ全寫スルニ適セス宜シク

蒔繪ト合作シ若クハ古模様ヲ撰テ適宜ニ配佈スヘシ木村吉次郎ノ唐草小箱此ト同製ニシテ完全ノ看アリ之ヲ以テ讀ルヘシ徳三郎髹技ニ精練ナリ若シ單ニ無地器ヲ製出セハ決シテ人後ニ落チヌ而カモ銳意斯ノ新作ヲ試ム其志向タル嘉ヌ可シトス富山ノ漆工ハ現ニ五六十人ニ及ヘリ余ハ其人ヲ檢スルニ往時刀劍ノ鞘塗ヲ業トセシ者數名アリ目下世ニ用ヒラレヌ僅ニ襖障子ノ框縁ヲ塗テ糊口ニ充ツ他ハ輪島ヨリ移住スル者ヲ多シトス是ニ於テ余ハ鞘塗方ヲ普通品ニ應用シ本會ニ出サシム友杉金次郎ノ四君子模様塗分平卓大澤信近ノ牡丹塗煙草盆千名恒次郎ノ漣塗磯草千鳥小棚等皆賞格ニ入レリ富山市長亦大阪ノ「ボール盆器地」ヲ購テ各工ニ配付シ余ノ意匠ニ依テ製作セシム其價廉ニシテ而カモ雅玩ニ具フルニ足ル其獎勵ヲ勉ムル此ノ如クナルモ工人輩猶舊夢ヲ醒ス能ハス空シク疑慮ノ間ニ彷徨シテ進取ヲ謀ラサルハ何ソヤ然レトモ其目的工程已ニ定レリ若シ果シテ一大刷新ヲ加ヘ歩武ヲ齊ヘテ聘出セハ北陸ノ地方ニ於テ輪島、山中、高岡ノ外新ニ富山漆器ノ一旗幟ヲ樹ツヘキナリ以上聯合各府縣ニ於ル漆器ノ概評ナリ尙且ツ仔細ニ出品ヲ點檢スレハ本類ノ名目ヲ濫用スルモノアリ後會ノ爲メ玆ニ一言セサルヲ得ス屏風襖ノ塗框ヲ出スハ固ヨリ可ナリ然レトモ表具師カ宿置ノ畫步障ヲ造リ其周圍ノ塗縁ナルヲ以テ本類ニ入ル、カ如キハ頗ル範圍ヲ外レタルヲ覺ユ又履物商カ下駄ノ塗臺ヲ出シ小間物店ヨリ眉刷ノ柄ニ蒔繪シタルヲ出スハ猶且ツ妨ナシ而カモ草鼻緒ニ漆ニテ型付シタルヲ出シ之ヲ漆器ニ混入スルハ傳會ニ過キタリ甚キハ則チ恭盤ニ蒔繪ヲ施サス單ニ盤ノ目ヲ盛リタルヲ



以テ漆工ニ屬ス是レ幾ト本會ノ分類ヲ無視シタル者ト謂ハサルヲ得ス此等ノ品ハ會場ニ上ルモ之ヲ審查シテ褒賞ヲ擬スルコト能ハス府縣委員宜シク當業者ニ注意シテ後來ヲ警ムヘシ

若シ夫レ漆器ノ製造上ニ關シ余カ尙ニ憂慮スル所ヲ舉クレハ一ハ粗惡ノ漆液ヲ濫用スル弊アルト一ハ近年漸ク木材ノ缺乏ヲ告ケ各地往々器様ヲ造クルニ困ムニ在リ曩ニ日本漆工會カ建議シテ文那漆ノ輸入ヲ遏メント欲セシモ其理ナキニアラス宜シク支那ノ賤品ヲ鑑査スル方法ヲ設ケ一方ニハ大ニ農林業ヲ勸誘シテ漆樹ヲ栽培セシメ一面ニハ山林ノ雜樹ヲ繁殖シテ各種木材ノ供給ヲ阜ナラシムヘシ余ハ切ニ此等ノ施設ヲ當路者ニ望マント欲ス

金屬器審査報告

審査官 岡本 勝元  
 審査官 大森 惟中

本報告書ハ審査官大森惟中主トシテ之ヲ起稿ス

金屬器

第二十二類金屬器ハ裝飾金屬器ト利器トヲ合收セリ故ニ審査員モ亦其人ヲ異ニシテ之ヲ分擔セシメタリ

出品ノ府縣ハ京都、大阪ノ二府、愛知、石川、富山、新潟、島根、兵庫、福井、岡山、山口、高知、徳島、廣島、香川ノ十三縣トス今先ツ裝飾金屬器ニ於ケル審査ノ概況ヲ陳ヘ次ニ利器ニ及フヘシ

裝飾金屬器ハ銅器、金銀器等ノ外鐵瓶ヲ付セリ其出品ハ富山縣ヲ最多トシ大阪之ニ次キ京都、新潟、石川又之ニ次キ愛知、島根ハ僅々十數點ニ過キサリシ中ニ就テ京都、大阪ノ二府ハ特ニ優賞ニ上ルモノアリ其賞數最多ク概シテ製品ノ面目ヲ一新セシハ富山縣ニシテ石川縣ノ象嵌諸器ハ之ヲ前會（即チ第六回兵庫縣主催ノ共進會）ニ比シテ稍遜色アルカ如シ島根縣ハ幾ト軒輊スル所ナク新潟ト愛知トハ今回新ニ加盟セルヲ以テ從前ニ比較スルコトヲ得ス今各府縣ニ就テ聊カ評言ヲ試ミン

京都府 ノ金屬器ハ紹美榮祐ノ製作特ニ等輩ニ拔テ前會ニ最優ノ賞ヲ得タルカ今回開場ニ先ツ一月卒然病ヲ獲テ物故シ其出品ヲ見ルヲ得サルハ深ク惋惜ス可シトス然レトモ平野吉兵衛ノ銅器別ニ瑣珣ノ一新色ヲ創出シテ極テ世好ニ投ス其中木瓜式ノ瓶掛碧潤愛ス可ク形狀能ク整ヒ温雅ノ觀ヲ失ハス場内ノ逸品タリ此他金谷泰溝口等世傳ノ工家率ネ傳色ニ巧ナリ加之正阿彌勝義近年岡山ヨリ移住シテ專ラ彫刻鑲嵌ノ技ヲ修メ後進ヲ督勵ス望ヲ將來ニ屬ス可シ其出陳ノ香具並ニ觀ル可ク老工ノ作タルニ負カス榮スルニ京都ノ製品ハ日常ノ要器ニ至ルマテ頗ル形狀ヲ撰擇スルニ勤ム然レトモ片切ノ彫工ハ東京ニ讓ル所多シトス

大阪府 ハ例ニ依テ輸出ノ鑄造遺物ヲ多シトス然カモ從前ノ如ク怪異ノ狀ヲナスモノ尠キハ稍改良ノ緒ニ就ケルモノ、如シ特ニ嶋佐兵衛ノ銅馬ハ原型ヲ造ルニ専門學士ニ質シ技術家ヲ召聘スル等經營頗ル勉タルヲ以テ骨格體勢善ク其眞ヲ摸出シ傳色モ亦之ニ稱ヘリ本會ニ於テ其比ヲ見ス此ヲ優賞ニ



擬スル固ヨリ其所ナリ但筋絡ノ狀少シク露出シテ神駿ノ風ヲ缺ク所アルハ惜ム可シ此他火鉢、花餅等ニ至テハ單ニ産額ノ多キヲ望ミ爲ニ蕪雜繁冗ニ流ル、ノ傾向アリ若シ其鑄冶加工ニ注意シテ少シク精ヲ凝ス所アラハ需用ハ頓ニ増倍シ販路ヲ擴ムルヲ得ヘキナリ

石川縣 ハ夙ニ舊習ヲ打破シ象嵌ノ技改良ノ途ニ就キ形狀亦温雅ノ風趣ヲ具フ水野源六ノ柳鷺小函ヲ以テ尤品トス鑄製ニシテ輕滑ナル恰モ鑄工ニ等シ其鏤嵌亦濃淡ノ度ヲ分チタリ此他一二品ヲ除ク外ハ器面ニ施工スル布置其宜キヲ制セス考案人後ニ墮ツルノ觀アリ宜シク意匠ヲ精練シ形式紋様相須ツヲ得テ柳メテ進歩ノ域ニ入ルコトヲ期圖スヘシ

新潟縣 ノ銅器ハ佐渡ノ本間琢齋ノ名世ニ知ラル、ト雖モ其鑄技遠ク先人ニ及フ能ハス想フニ小康ニ安シテ大成ヲ期セス作ニ臨ンテ精思セサルニ由ルカ越後ハ新潟市燕町ノ鑄器稍盛ナルヲ見ル形狀較具備シ且ツ其價極テ廉ニシテ實用ニ充ツヘシ是レ全ク玉川覺平カ夙ニ此業ヲ創メ克ク工人ヲ率先セラルノ効果ニシテ其製作ノ花瓶湯沸等特ニ精好ニシテ一地方ニ卓出セル固ヨリ偶然ニアラス但彫嵌ノ工更ニ數歩ヲ進メハ雅客ノ清賞ニ入ルヲ得ヘシ

愛知縣 ノ銅器ハ他ノ各部ニ比シテ振興セサルカ如シ火鉢ノ出品アレトモ其紋様形式徒ニ舊貫ヲ改メス偶新奇ヲ出サントシテ其耳ニ注意セス之ヲ把持スルニ手指ノ痛ヲ感スルモノアリ鑄製ノ水注ノ如キ其廉價ヲ欲シテ形狀ノ如何ヲ省ミス唯後藤太七ノ鳥銅引手ノ標本ハ各様其式ヲ分チ意匠工作頗ル周到ナルヲ以テ賞選ニ入ルヲ得タリ

島根縣 ハ銀製ノ花瓶、盃、香爐等ヲ出ス其彫鏤ハ都テ野々見良親ノ作ト爲ス良親ハ正之助ト稱ス余ハ神戸ノ共進會ニ初テ其葛花圖ノ花瓶ヲ審査シ片切ノ徑痕頗ル快雋ナルヲ以テ特ニ三等賞ヲ擬セリ因テ委員ニ問ヘハ其人歳尙二十餘ニシテ彫工ヲ業トシ會テ師授ノ力ヲ藉ラスト蓋シ天稟ニ出ルナリ余ハ米原雲海カ島根ノ人ニシテ高村氏ニ學ヒ木彫ヲ以テ聞ユルヲ知ル往年歸縣シテ業ヲ開ク余ハ其技ノ却退セルヲ見テ之カ上京ヲ催シタリ良親ニシテ東京ニ修業セハ雲海ト其名ヲ等シクスルヲ期スヘシ因テ屢之ヲ勸進セシカ而カモ其親老ユルヲ以テ今猶郷ヲ出ル能ハスト惜ムヘキナリ今回自作ノ素銅甲板杉樹鳩圖頗ル觀ル可シト雖モ素養缺ク所アルヲ以テ自ラ鄙野ノ習アルヲ免レス鹽津親次ノ小額柳鷺彫ハ加納夏雄氏ノ徒弟ニシテ隱然師家ノ風アルモ其刀痕活潑ナル能ハス是亦縣地ニ僻在シテ見聞博カラス隨テ其技ノ進マサルニ由ル歟

富山縣 ハ高岡ノ銅器ヲ以テ幾ト其全部ヲ充タシ富山市ノ出品ハ僅ニ一二ノ彫鏤金屬器アルニ過キス而シテ高岡ノ製品ハ往年一時盛ニ海外ニ輸出セシ後漸ク濫造ニ流レ徒ニ外見ノ虚飾ヲ街ヒ繁蕪錯雜ヲ極メタルヲ以テ近年全ク其販路ヲ失ヒ萎靡トシテ振ハス纔ニ内地ノ需要品ヲ出スニ止レリ然カモ其形狀模様會テ考案ヲ施サス其着色ノ如キ容易ニ變褪スルカ故ニ大阪ノ銅器商ハ鑄成ノ器地ヲ求メ之ニ加色シテ阪地ノ製品ト爲シ市場ニ出スニ至レリ是ニ於テカ富山縣工業會ハ去年初テ余ヲ招聘シ



テ顧問トシ富山、高岡ノ兩市ニ圖案部ヲ設ケ專ラ其改良ヲ謀リタリ今會出品ノ賞ニ上レルモノ多クハ余ノ意匠ヨリ成レリ余ハ此ノ干係アルヲ以テ審査ノ際可否ヲ發言セス一ニ審査員ノ選定ニ委セタリ今京都府審査委員金子錦二氏カ記スル所ノ概評ヲ録シ以テ余ノ報告ニ代ヘント欲ス

大森氏カ高岡金屬器ニ於ケル指導教示ノ規度宜シク其工技ノ優劣ニ應シテ意ヲ授ケ旨ヲ諭ス故ニ商工奮奮ヲ研修シ全市罹災燒亡ノ非運ニ辟易セス勇往精進出品セル中ニ藤田善六ノ苧環形火鉢島彌平ノ鶉籠形手爐ノ如キ形狀瀟灑ニシテ宏逸ノ氣アリ其傳色モ亦巧妙ヲ呈セリ竹田竹太郎ノ水中菱花名刺皿ハ其彫技未タ達セリト云フヘカラサレトモ布圖ニ於テハ警拔群ヲ抽ク是等諸品ヲ東西二京ノ製作中ニ混スルモ敢テ遜色ナカルヘシ其他火鉢、瓶掛等ノ形式模様決シテ舊來ノ高岡製ト見做シ難キ一生涯ヲ開キ優ニ一方ノ旗幟ヲ樹タルハ喜フ可シ此銳意改良アルニモ拘ハラズ尙陋習ヲ墨守スルモノアルハ怪訝ニ堪ヘサル所ナリ尙進テ鑄起象嵌彫鏤ノ諸法ヲ講究セハ必ス邦内ニ雄飛スヘキナリ

右金子氏ノ言余ニ於テ頗ル過當ナリト雖トモ其舊面目ヲ革メタルノ一語ハ甘シテ其評ヲ受ケント欲ス鑿若覺兵衛ノ猩々置物ハ一見先ツ尤異ノ想アリ聞ク高岡ノ青年工人卷野外次郎カ東京ニ於テ作ル所ト近來象型ノ技都下ニ發達セル其進度驚ク可ク隨テ鑄製品ヲ一變セシメタリ但猩々ノ狀其眞ヲ失ヘルモノアリ田中芳男君ノ説ニ云ク此獸ノ手腕ノ毛ハ他ノ猿類ト異ナリ臂ニ向テ逆生スル恰モ人ニ

同シク且ツ二足ヲ以テ行歩ス故ニ歐州ノ學者猩々ヲ以テ人類ノ始祖ト爲セリ此像ノ腕ノ毛ハ肩ヨリシテ順ニ生ス是レ偶其寫生ヲ誤レルナラント後生輩宜シク此ニ鑑ミルヘキナリ

高知縣ト福井縣トハ些少ノ雜品ニシテ評言ヲ要セス

鐵瓶ハ京都ノ溝口安之助(龍文堂)雨宮宗七(金壽堂)石川ノ宮崎彦九郎(寒雉)富山ノ金森佐兵衛等ノ數氏出品アリト雖モ都テ舊來ノ模型ヲ離レス所謂様ニ依テ葫蘆ヲ畫ク者タリ進化ノ時世獨リ何ソ新意匠ヲ求ムルコトヲ務メサルヤ古來風爐釜ノ名器ト稱セラル、モノ皆其人々ノ考案ニ出テタリ今ノ人唯先輩ノ餘唾ヲ舐ル眞ニ氣力ナシト謂フヘシ

利器ハ今回初テ本類ニ屬セリ其出品人員ノ最多キハ福井縣ニシテ大阪府、高知、新潟、富山、島根等遞ニ其次ニ居リ廣島、岡山、徳島、山口、香川、愛知、石川ハ一二人ニ過キス其全ク出品ナキハ京都府及ヒ奈良、愛媛ノ二縣ナリ

福井縣 ハ多ク鎌類ヲ出陳ス越前武生鎌ヲ以テ名アリ其中小泉仁大夫ノ出品ヲ優ナリトス形狀普通ナレトモ其鋼ハ率チ伯州產ヲ用ヒ煨煉頗ル堅硬ナリ桑切庖丁ノ製作モ亦之ニ同シ

大阪府 ノ出品厨具庖丁類ハ其形狀概シテ世好ニ適セリ然レトモ必要ノ燒刃多クハ軟ニ過キ久キヲ保タスシテ利味ヲ鈍クスルニ至ル知ル可キナリ就中酒井包義湯淺七左衛門ノ如キ從來名聲ヲ博シ各地ノ品評會ニ於テ毎ニ優賞ヲ得タルモ今回ノ出品ハ皆其弊ヲ免カレス是レ或ハ世傳ノ家名ヲ負ミ唯ニ



形姿ノミヲ好クシテ其鍛製ヲ粗略ニセルニアラスヤ現ニ酒井ノ職工吉田正忠カ自作鯉切庖丁ノ如キ品質良好ニシテ鍛煉甚タ精シク庖人ノ用具ニ適シ本會ノ優品タリ而シテ包義ノ出品中同作ニ係ル者アルモ遠ク此ニ及フ能ハス是レ其注囑ヲ忽ニスルニ因ラスンハアラス宜シク將來ニ警メテ其家聲ヲ際サ、ラシムヘキナリ

新潟縣 ハ鋸及鎌等ヲ出ス鎌ハ其形狀宜シカラス鋸ハ寺山松太郎ノ製作特ニ精巧ニシテ會津若松ノ名工助左衛門ノ遺風アリ他ノ製品ハ普通ナリ鋸ハ其目粗クシテ燒度モ亦少ク軟キヲ覺ユ

富山縣 ノ出品及器ハ形狀概シテ不良ナリ是レ蓋シ北限ノ地ニ偏在シテ世況ヲ知ラサルニ由ル其中鋸鎌ノ鍛製頗ル薄クシテ適用ニ宜シク價格太廉ナルモノアリ

兵庫縣 ハ鋸類ノ出品多ケレトモ率ニ尋常ノ製作ナリ其缺ノ如キ鋼至テ少クシテ一タヒ及ヲ毀ツトキハ再ヒ使用スルニ堪ヘサルモノ多シ宜シク改良ヲ加フヘシ

島根縣 ノ鋸鎌ハ價格廉ナレトモ燒及長ク保タスシテ實用ニ適セサルヘク高知縣ノ鎌ハ品質宜キモ其柄首ニ反ナキヲ以テ使用上ニ便ナラス此他新潟ノ鋸ノ柄本ヲ圓ク剃ラスシテ犬牙狀ヲ做シタル兵庫ノ鑿ノ柄本ニ反狀ヲ付セサル富山ノ鉋ノ形狀頗ル惡クシテ臺ヲ付スルニ宜シカラサル大阪ノ羅紗切・缺ノ捨要ノ位置三分許上リ過キタル等瑣細ノ事ナレトモ適用ニ碍アリ將來ノ注意ヲ望マサルヲ得ス兵庫ノ三榮會社炭曹燒ノ煙草庖丁ハ製作ノ簡便ヲ期セリト雖モ其術猶未到ラスシテ表裏俱ニ巧ナラ

ス世需ニ應スルヤ否ヲ確保セス是レ亦向後ノ研究ヲ要セサル可カラス

此他一二ノ農具犁稻扱等ノ出品アレトモ評論ヲ要スヘキモノナシ

以上審査ノ概評ヲ畢レリ今特ニ本類ノ出品上ニ關シ少シク異見ヲ陳シ以テ後會ノ參考ニ資セント欲ス抑第六回關西共進會ニ始テ銅器ノ類目ヲ設ケタルカ其名稱ニ拘ハリテ金、銀、錫、鐵等ノ諸器ヲ出スヲ許サス余ハ當時其區域ノ褊狹ナルヲ以テ金屬器ト改稱スヘキヲ論シタリ且ツ前會ニハ眞鍮、銅ノ日用雜具ヲ出陳セシメシカ今回ハ之ヲ容サス僅ニ大阪府ノ金網細工ト亞鉛ノ「バケツ」トヲ見ルノミナリキ而シテ鐵瓶ト利器トヲ加附シタリ是レ裝飾金屬器ノ外日用金屬器ヲ除キタルモノニシテ其目的タル固ニ可ナリトス然ルニ府縣委員中單ニ鐵瓶ノ名アルヲ以テ本類中鐵器ヲ出ス可カラサルモノトシ石川縣山田長三郎ノ鐵鏈諸器ノ如キ既ニ其名ヲ海外ニ輝カセルニモ拘ハラス正當ニ之カ出品ヲ許サリシハ見解ヲ誤レル者ト謂ハサルヲ得ス金屬器ノ名目中決シテ裝飾ノ鐵器ヲ除外セス其單ニ鐵瓶ノ名ヲ擧ゲタルハ日用鐵器、鍋、釜類ノ出品ヲ容サ、ルモ鐵瓶ハ特ニ之ヲ許スト云フノ意ニ過キサルナリ次回ニ於テハ宜シク其過ヲ再ヒセサルヘシ然リ而シテ本會中從前ニ例ナキ出品ヲ爲セル者アリ京都、大阪、島根、富山等ノ各府縣ニ簪、指輪若クハ烟管等ヲ陳列シタリ此等ノ諸品ハ内國博覽會ノ分類ニ於テ別ニ裝身具携帶品ノ部ニ收メ金屬器ノ名下ニ屬セシメス故ヲ以テ例外ノ出品トシテ之カ審査ヲ加ヘサリキ此等ノ件ハ後會ニ於テ劃然之ヲ區別シ出品者ヲシテ徒勞ノ陳列ヲ爲サシメサルヘシ是レ余カ特ニ各



府縣委員ニ冀望スル所ナリ

紙及其原料并木蠟審査復命書

第七回關西府縣聯合共進會出品紙及其原料木蠟審査報告書別冊之通り調成仕候間此段度ンテ復命候也

明治三十三年 月 日

農商務省特許局審査官補 土居川 佐一郎

農商務大臣會福荒助殿

第七回關西府縣聯合共進會出品紙及其原料、木蠟審査員左ノ如シ

一紙及其原料

高知縣	横川 博 惠
福井縣	加藤 覺 太郎
愛媛縣	薦 田 篤 平
廣島縣	廣 瀬 定 太郎
愛媛縣	浦 中 要 次 郎
福井縣	丸 山 久 左 衛 門

一木蠟

紙及其原料審査報告

第七回關西府縣聯合共進會ニ出品セル第二區第二十三類紙及其原料ハ其ノ點數無慮四千ニ達シ其人員亦二千三百有餘ノ多キヲ致セリ今其ノ種類ヲ列舉スレハ紙ニ於テ半紙、美濃紙、書院紙、大判紙、半切紙、傘紙、典具帖コッビー紙、奉書紙、鳥ノ子紙、印刷紙等ニシテ其ノ最モ多數ヲ占ムルモノヲ半紙トシ美濃紙、書院紙、半切紙之レニ亞ク典具帖、コッビー紙、奉書紙、印刷紙等ニ至リテハ其數少シトセサレトモ多クハ高知、福井等殆ント僅々一二縣ノ出陳ニ係リ他府縣製品ノ之レト比較スヘキモノ無カリシハ遺憾トスル所ナリ以上ノ外文庫紙等一二種ノ紙製品アリ原料ハ楮皮及ヒ三極皮ニシテ共ニ相應ノ出品アリシト雖モ是レ又大部分ハ高知縣ノ産出ニ係リ其他ノ府縣ハ點數極メテ少ナク其ノ品位モ亦高知縣ノ如キ整一ニシテ佳良ナル多數ノ出品ヲ見ルニ比スレハ遙カニ其ノ下位ニアルモノト云ハサルヘカラス

惟フニ關西府縣聯合共進會タル其ノ聯合スル處ニ二府十五縣其ノ地域畿内及山陰、山陽、南海、北陸ノ四道并ニ東海道ノ一部ニ亘リ其廣大ナルコト他ニ比類ナキ處ニシテ隨テ出品ノ種類ノ如キモ亦多岐ニ涉リ宛然勸業博覽會ノ觀アリト云ハサルヲ得ス此ノ如ク地域廣大ナルニ從ヒ地勢風土人情等ノ軒輊著シク産業ノ發達亦其所長ヲ異ニセルカ故ニ本共進會出品ノ如キモ地方各其ノ長所トスルモノニノミ力ヲ專ラニシ他ハ捨テ、願サルノ趣アルハ數ノ免カルヘカラサル所ナルヘシ殊ニ紙ニ至リテハ高知、愛



坂、福井、島根等僅々數縣ノ外ハ出品大率粗雜ニシテ當局ノ有司獎勵指導ニ努メヌ當業者亦其ノ發達ニ熱心ナラサルノ跡歷々トシテ徵スヘキモノアリ然レトモ本會ノ聯合府縣各々産業ノ特長アルコト前途ノ如シ今其ノ長所ヲ顧ミスシテ紙業ノ獎勵ニ勉ムヘシト云ハ、無理ノ注文タルコト勿論ナリト雖トモ猶ホ充分ニ發達ノ餘裕ヲ存スルニモ拘ラス萎微振ハサルモノアルニ至リテハ其責ヲ負フモノ有司及當業者ニアラスシテ謹ソ

抑モ紙ハ總產出額一千五百萬圓ヲ超ヘス海外輸出額亦一百萬圓ニ過キヌ未タ以テ隆ンナリトスルニ足ラスト雖トモ將來有望ノ産業トシテ益々其ノ隆盛ヲ期セサルヘカラサルモノナルコト識者ヲ俟タスシテ明カナリ然ルニ現今機械工業ノ發達底止スル所ヲ知ラサルノ秋ニ際シ一朝歐米ノ技術家ニシテ全然機械力ヲ以テ完全ナル日本紙ヲ抄造シ得ルニ至ルナキヲ保スヘカラス是レ實ニ本邦産業上寒心スヘキ一大慘事ナリトス故ニ本邦當業者タルモノ一方ニハ原料ヲ精選シ抄造ニ注意シ良品ヲ出シテ以テ華客ノ信用ヲ厚クシ他方ニ於テ新智識ヲ有スル機械技術者ニ依囑シテ着々抄造機械ノ改善完備ヲ圖リ日本紙製造業ヲシテ徹頭徹尾我カ固有ノ工業タラシメ日本紙ヲシテ永久我カ最大重要輸出品タラシムルコト努メサルヘカラス特ニ記シテ當業者ノ猛省ヲ促スコト爾リ

今試ミニ聯合各府縣ニ就キ逐次コレカ批評ヲ下サハ次ノ如シ

高知縣 本縣ノ 品ハ千七百五十餘點其人員約千二百名ニ達シ實ニ本類出品總數ノ大半ヲ占メタリ其

中紙出品ノ主ナルモノハ典具帖コツビー紙、書院紙、半切紙等ニシテ典具帖コツビー紙ニ於テ優品ノ多キヲ見ル以上二種ノ紙ハ我カ重要輸出品ノ一ニシテ外國貿易上ニ於ケル前途春海ノ如キモノナリ本縣カ主力ヲ此ノ兩紙ニ注キテ專心其ノ改良發達ヲ努メテ怠ラサルハ嘉ミスヘシコツビー紙ハ現時ニアリテハ通常莖花皮四分三極皮六分ノ割合ニ依リ抄造セラル、ヲ以テ適當トスルニ拘ラス三極皮ノ量多キニ失セルカ爲メ紙質稍ヤ硬厚ナルノ嫌アリテ我カ輸出貿易上影響ヲ來スコト少ナカラサルヘシト雖モ近年莖花皮ノ欠乏愈々甚シク到底之ヲ多量ニ使用スルコトヲ許サ、ルハ實ニ遺憾ノ極ナリトスサレハ當業者タルモノハ熱心精研三極皮ノミヲ用ヒテ佳良ナルコツビー紙ヲ抄造シ得ヘキ様技術ノ進歩ヲ圖ルハ實ニ刻下ノ急務ナリ典具帖ニ於テハ甚シキ劣品アルヲ見スト雖モ往々纖維ノ溶解不充分ニシテ結塊ヲ止ムルモノアリ或ハ乾シ板ノ不良ナルカ爲メニ其ノ木理ヲ印スルモノアル等缺點少ナカラサルハ其ノ責ヲ當業者ノ不注意ニ歸セサルヘカラス書院紙、半切紙ハ一頭地ヲ拔ク底ノ優品ナシト雖モ品位略ホ均整ニシテ優劣ノ差甚シカラサルハ本縣有司ノ獎勵ト當業者ノ注意宜シキヲ得タルノ結果ナリトス半紙ニ至リテハ良品殊ニ少ナク紙業ノ先進者ヲ以テ自任スル本縣ノ製品トシテハ多少ノ遺憾ナキ能ハサルナリ素ヨリ本縣獎勵ノ方針彼ニアリテ此ニ在ラサルヘキハ推知スルニ難カラスト雖モ内地需用紙中ノ第一位ニアル半紙ノ如キハ決シテ其ノ製造法ヲ等閑ニ付スヘキモノニアラサルヘシ



次ニ原料ニ於テハ楮三極トモニ黑白二種ニシテ其ノ種類少ナカラスト雖トモ楮ハ麻葉ヲ第一トシ三極ハ地子ト稱スル自然生ノモノ多シ共ニ品質概テ優等ニシテ能ク一定シ甚シキ不良ノ出品ヲ見サルハ實ニ美觀ト云フヘシト雖トモ其ノ色澤ニ於テ猶ホ一定セサルノ憾アルハ璧玉ノ一瑕ト云ハサルヲ得ス當業者宜シク奮勵シテ益々良品ノ産出ヲ圖ランコトヲ望ム

福井縣 本縣ノ出品ハ百有餘點其人員約六十名ニシテ其ノ中紙ハ主トシテ印刷紙、鳥ノ子紙、奉書紙等ナリトス奉書紙、鳥ノ子紙ハ品質佳良ニシテ他府縣製品ノ企及スヘカラスルコト原料ノ撰擇抄造ノ方法共ニ其宜シキヲ得タルヲ證シテ餘リアリ印刷紙ハ之ヲ印刷局製紙ニ比スレハ稍々遜色アルカ如シト雖モ其ノ紙質堅緻鮮美ニシテ品位略ホ一定シ厚薄亦甚シキ不同ナキハ嘉賞スヘシ特ニ本縣製紙業者ハ孜孜汲々泰西ノ機械ヲ應用シ以テ日本紙抄造ノ改良ニ努ムルハ誠ニ斯業上ノ一大進歩ニシテ一般同業者ノ好模範ト云ハサルヘカラス惜ムラクハ其ノ産出額未タ多カラス製造地亦最爾タル一部落ノミ本縣有司及當業者宜シク奮勵一番益々斯業ヲ盛大ニシ速カニ本縣ヲシテ帝國屈指ノ大紙產地タラシムヘシ

原料ノ出品ハ極メテ少数ニシテ僅々數點ニ過キス其ノ品位亦佳良ノモノアルヲ見サルハ遺憾トスル所ナリ

愛媛縣 本縣ノ出品ハ二百九十餘點ニシテ出品人員百有餘名ナリトス

紙出品ノ主ナルモノハ半紙、大半紙等ニシテ半切紙、コッビー紙、典具帖、奉書紙等此ニ亞ケリ其ノ半紙、大判紙ハ共ニ原料ノ撰擇抄造ノ方法等宜シキヲ得技術改進ノ蹟見ルヘシコッビー紙、典具帖ハ共ニ産額未タ多カラス技術亦高知縣ニ及ハサル所アリ當業者須ラク奮勵一番スヘシ奉書紙ハ俗ニ伊豫紙ト稱シ錦繪印刷其他ノ需用ニ適スルモノニシテ産額少ナシトセサレトモ原料ノ精撰不充分ニシテ紙質佳良ナラサルノミナラス乾シ板ノ不良ナルカ爲メニ往々木理ノ跡ヲ存スルモノアルハ當業者ノ不注意ト云ハサルヘカラス且ツ半紙中間々舊式ノ製法ニヨレルモノナリ此等ハ速カニ模範ヲ先進者ニ取り改良セル新式ノ方法ニ從フヘシ

原料ハ楮三極ノ黑白共ニ可ナリノ出品アリシト雖トモ種類粗雜ヲ極メ品位亦一定ナラスシテ優劣ノ懸隔殊ニ甚シク僅々數點ノ外見ルニ足ルモノナカリシハ遺憾ナリ

島根縣 本縣ノ出品ハ總數三百六十餘點ニシテ其人員二百六十名ナリトス其中紙出品ノ大部分ハ半紙ニシテ其他ノモノハ極メテ少ナシ楮製半紙中往々米糊ノ使用其度ヲ超ヘ爲メニ紙質柔軟ニ流レ或ハ「チリ」ノ使用不熟練ナルカ爲メ紙面ニ黒斑ヲ印セルモノアリ改良半紙ニ於テハ乾シ板ノ不良ナルカ爲メ往々木理ヲ印シ若クハ漉麗ノ粗ナルモノヲ用フルヨリ紙質ヲ損スルモノ尠ナカラス速カニ此等ノ欠點ヲ除カスンハ市場ノ聲價ヲ博スルコト難カルヘシ然レトモ本縣有司及ヒ當業者ノ製紙業ニ熱心ナル高知、岐阜等ノ先進地方ヨリ教師ヲ招聘シ孜孜シテ其ノ改良ヲ努ムルカ故ニ軌近高足ノ進



歩ヲナセルモノ、如ク今回ノ出品ヲ以テ前回ニ比スルニ其發達殊ニ顯著ナルモノアルハ嘉ミスヘキナリ元來本縣ハ原料ノ豐富ヲ以テ開ユルノ地ナレハ本業ノ前途尙ホ悠遠ニシテ當業者精研ノ餘地大ニ存スルモノト云フヘシ又タ半紙中往々葉ヲ混合セルモノアルヲ見ル是レ必シモ不可ナルニアラスト雖モ前述ノ如ク原料ニ富ミ將來好望ナル本縣製紙家トシテハ市場ノ聲價ニ關スルコト少ナカラスシテ策ノ得タルモノニアラサルヘシ

原料ハ間々見ルヘキノ佳品ナキニアラサルモ種類雜駁ヲ極メ品位形狀等整一ナラス色澤亦不良ナルモノ多キハ惜ムヘシ當業者タルモノ宜シク良種ヲ撰擇シ栽培及剝製ノ方法ヲ一定シ着々改善ノ道ヲ講スヘキナリ

富山縣 本縣ノ出品ハ二百六十餘點ニシテ其人員百八十五名ナリ紙ハ八寸紙ト稱スル半紙最モ多ク美濃紙、傘紙等之ニ亞ク其他僅少ノ蠶種紙及ヒ紺紙、紙手巾等アリ本縣紙業ハ一般ニ幼稚ニシテ其製品ノ如キモ專ラ同地方ニ於ケル需用ニ應スルニ過キス本縣ノ内婦負郡ヲ以テ最モ盛ナリト稱スレトモソノ製法タル極メテ舊式ニシテ前記諸縣ニ比スレハ遠ク及ハサル所ナリ八寸紙ノ如キハ米糊ノ使用度ニ過キタル爲メニ甚タシク品位ヲ失墜セルモノアルヲ見ル間々葉ヲ混合セルモノ、内改良漉アルヲ認メタリト雖モ其技拙劣ニシテ見ルニ足ラス是レ畢竟葉原料ノ製成上苛性曹達及漂白粉ノ使用法ヲ熟知セサルニ職由スルモノナラン半紙ハ需用最モ多キモノナレハ其ノ抄造法ニ改良ヲ加ヘ楮皮

ニ加フルニ三極原料ヲ以テスル等着々其ノ進歩ヲ圖リ同時ニ其ノ大サノ如キモ通常ノ半紙ノ寸法(縦八寸三分、横一尺一寸三分)ニ改メ以テ一般ノ需用ニ適スルコトヲ勉ムヘシ傘紙ハ紙質堅牢ニシテ實用ニ適シ本縣製紙中ノ上葉ナルモノナリ美濃紙、蠶種紙ハ優品ト認ムヘキモノ極メテ稀レナリ紺紙ニ至リテハソノ面ヲ指頭ニテ摩擦スレハ紺色直チニ指頭ニ附着スル等染色ノ不良ナル之ヲ徳島縣ノ同製品ニ比スルニ大ニ劣レルモノ、如シ戒ムヘキナリ

原料ノ出品ハ楮皮ノミニシテソノ品質甚タシク劣等ナルモノニアラスト雖モ種類雜駁形狀及丈尺結束等不齊ニシテ見ルヘキノ佳品無カリシハ惜ムヘシ既ニ述ヘタルカ如ク本縣製紙改良ノ第一着手ハ三極原料ヲ使用スルニアルモノナレハ速カニ三極ノ栽培ヲ獎勵センコト本縣產業當局者ニ對シテ切ニ希望スル所ナリ素ヨリ本縣土質カ果シテ同原料ノ栽培ニ適スルヤ否ヤハ不明ナリト雖モ同樹ハ山間濕潤ノ地ニ適スルモノナレハ試ミニ其ノ栽植ヲ行フヘシ幸ニシテ盛ニ其產出ヲ見ルニ至ラハ本縣紙業家ヲ益スルコト多大ナルヘキヤ疑ヲ容レサルナリ

山口縣 本縣ノ出品ハ紙ノミニシテ其數九十餘點出品人員七十餘名ナリ其ノ大部分ハ半紙類ニシテ其他ハ美濃紙、障子紙「ナブキン」紙及ヒ半切紙「コッピ」紙等ノ如キモノナリトス半紙ハソノ原質及ヒ抄造ノ方法等廣島縣ノ製品ニ近似シ隨テ良品ニ乏シカリシハ遺憾ナリ障子紙「ナブキン」紙ハ品質不良ナリト稱スヘカラサルモ少シク薄キニ失スルノ感アルカ如シ半切紙ハ高知縣等ノ製品ニ比スレ



ハ素ヨリ日ヲ同シクシテ論スヘキニアラサルモ本縣製紙中ニ於テハ比較的良品タルヲ失ハサルナリ  
 概スルニ本縣製紙業ハ稍ヤ改良ノ氣運ニ向ヒツ、アルモノ、如シト雖トモソノ製法未タ舊習ヲ脱却  
 スル能ハサルト裁斷結束ノ不整ナルトハ吾人ヲシテ營業者カ果シテ斯業ニ熱心ナルカラ疑ハシム殊  
 ニ鎌ヲ以テソノ周邊ヲ切斷セルモノアルカ故ニ斷面凹凸ヲ生シ又ハ正シキ矩形ヲナス能ハスシテ甚  
 シキ菱形梯形等ノ不正形ヲナセルモノ少ナカラス此等ハ書冊用、障子用其他百般ノ用途ニ於ケル一  
 大缺點ナルヲ以テ速カニ改良ヲ施コサ、ルヘカラス

徳島縣 本縣ノ出品ハソノ數百十餘點人員七十餘名ニシテ紙ノ主タルモノハ糞混合製紙ナリ抑モ糞混  
 合紙ナルモノハ始メ糞纖維ヲ處理スルノ際強度ノ藥品ヲ多量ニ使用シ該纖維ヲ脆弱ナラシムルヲ以  
 テ之ヲ多ク混用セル製紙ハ紙質從テ脆弱ニシテ一般ノ用途ヲ充タスコト難ク只價格低廉ナルヲ以テ  
 僅カニ下級ノ需用ニ應スルアルノミ營業者宜シクソノ混合量ヲ減シ且ツ之レト配合スヘキ原料ヲ精  
 選シ以テ上位ノ製品ヲ產出スルニ務ムヘシ改良紙類ノ出品アリト雖トモ未タ眞ニ改良ノ域ニ達シタ  
 ルモノト云フヲ得ス須ラク其ノ抄造法ニ注意スヘシ美濃紙中往々見ルニ足ルモノアリ原田虎藏出品  
 薄雁皮紙亦賞スヘシ

原料ハ主トシテ三椋皮ニシテ能ク土質ニ適シ栽培法亦頗ル行届ケルノ觀アリト雖トモ多クハ小葉種  
 ニ屬スルモノナルカ故ニ生長充分ナルモノヲ見ス且ツ纖維歩留リ多カラサルノ感アルハ惜ムヘシ  
 製法ニ至リテモ鬼皮ノ剝キ方不注意ニシテ纖維中ニ塵ヲ止メ且ツ形狀不定乾燥色澤共ニ不良ナルハ  
 思フニ從來ノ習慣上注意ノ足ラサルノ結果ニ外ナラサルヘシ營業者宜シク此ニ省ミ種類ヲ精選シ剝  
 製ニ注意スヘシ

岡山縣 本縣ノ出品ハ七十餘點其ノ人員五十六名ニシテ紙出品ノ重モノハ糞製紙ナリ元來本縣  
 下作列地方ハ水力利用ノ便多キヲ以テ糞原料ノ搗碎等頗ル工費省クヲ得ルト云フ是ヲ以テ糞製紙ト  
 シテ其ノ抄造法ハ勿論價格ノ廉ナル點ニ於テハ徳島香川ノ右ニ出ツヘシ三椋製改良紙ノ出品アレト  
 モ原料ノ製成及ヒ抄造ノ方法等未タ充分ナラサルヲ以テ色澤其他ニ於テ缺クル處少ナカラス模範ヲ  
 先進地方ニ採リ一層ノ改良ヲ行ハ、將來有望ノ產物トナラン大平紙ハ本縣固有ノ産紙ニシテソノ技  
 術實スヘシ中ニ於テ畫工ノ手ヲ要センモノアリ其價格頗ル不廉ナルカ故ニ廣ク需用ニ應シ難カルヘ  
 シト雖モ普通製ノモノニ至リテハ價格ソノ當ヲ得テ販路ニ望ミ多カラシ  
 原料ハ楮三椋共ニ主トシテ黒皮ニシテ白皮ハ僅カニ一二點ニ過キス就中三椋ハ原質頗ル佳良ニシテ  
 形狀亦高知縣出品ニ讓ラサルモノアリシト雖モソノ剝製不完全ニシテ色澤亦甚タ不良ナリ是レ蓋シ  
 晒方及乾燥不充分ナルニ因ルモノナラン營業者タルモノ深ク注意スヘシ

京都府 本府ノ出品ハ五十六點出品人員二十一名ニシテ其ノ中紙ハ種類區々ニシテ幾ントソノ半數ハ  
 加工紙ナリ加工紙中大八木藤藏ノ出品文庫紙ハ賞スヘシ通常製紙ニ至リテハ僅カニ田中宗助出品改



良書院紙ヲ除クノ外ハ見ルニ足ルモノナク前記諸縣ノ製品ト日ヲ同シクシテ論スヘカラス當業者須  
ラク奮勵一番スヘシ

原料ハ僅カニ一點ニシテ其ノ品質亦見ルニ足ラス

廣島縣 本縣ノ出品ハ僅カニ三十三點人員十八名ニシテ主ナル出品ヲ楮製半紙トシ他ハ少數ノ美濃紙  
諸口紙奉書紙等ナリ本縣製紙業ハ全ク舊式ヲ墨守シ來レルモノ、如ク一般ノ製品皆原質粗笨色澤不  
良ニシテ見ルニ足ルモノナシ元來本縣ハ楮皮原料ニ富メルヲ以テ製品亦從テ如斯ナルヘシト雖トモ  
同時ニ亦三種原料ヲ得ルニ利便ノ地ナルヲ以テ宜シク此等ノ原料ヲ配合シ品質ヲ改良シ同時ニ舊來  
ノ晒白法ヲ更メテ藥品晒シヲ用ヒ以テ其ノ發達ヲ務ムヘキナリ概スルニ本縣紙業ハ隣接セル山口縣  
若クハ鳥根縣ニ比スルニ甚タ幼稚ニシテ當業者亦製紙業ヲ發達セシメテ縣下ノ一物產トナサントス  
ルノ念腦裡ニ存セサルモノ、如シ若シ果シテ然ランニハ本縣產業ノ爲メニ惜マスンハアラサルナリ  
原料ハ僅カニ一點ナレトモ其ノ品質ハ稍ヤ見ルヘキナリ只其剝製法ニ缺クル處アルカ爲メ原質ノ美  
ヲ發揮スル能ハサリシハ惜ムヘシ

奈良縣 本縣ノ出品ハ六十二點人員五十六名ニシテソノ出品ノ重モノナルモノハ吉野紙及ヒ國襪紙ナリ  
吉野紙ハ本縣ニ於ケル古來有名ナル產物ナリト雖モソノ抄造技術ニ至リテハ少シク退步セシヤノ感  
ナキ能ハス或ハ乾シ板ノ不良ナルカ爲メ紙面ニ木理ヲ印セルモノアリ或ハ米糊ヲ多量ニ用ヒシヨリ

紙上ニ凝固セルモノアルヲ見ル此ノ如キハ液体濾過用貴重品包裝用トシテハ一大缺點ナルヲ以テ速  
カニ之レカ改良ヲ圖ラスンハ聲價ノ失墜ヲ免カレサルヘシ國襪紙ハ帳簿表紙用等トシテハ蓋シ適當  
ナルモノナリ尙ホ一層原料ノ煮熟法及抄漉法ニ改良ヲ加ヘ且ツ價格ヲ廉ニスルコトヲ得ハ需用少ナ  
カラサルヘシ半紙ノ出品ハ點數少ナク又見ルヘキモノ無カリシハ遺憾ナリ

石川縣 本縣ノ出品ハ製紙而已ニシテ其數六十點出品人員三十四名ナリトス紙ハ三種製楮製共ニ佳良  
ナルモノナキニアラスト雖モ未ダ幼稚ノ境域ヲ出ツル能ハサルモノ、如シ當業者宜シク先進地方ニ  
鑑ミ以テ其ノ發達ヲ圖ルヘシ渡邊太郎平出品製圖用紙ハ尙ホ一層原料ノ煮熟法ヲ改良シ漉簀并ニ乾  
シ板ヲ完全ニシ礬水ノ塗布ヲ適度ニシテ紙質ヲ強韌ニシ紙面ヲ平滑透明ナラシムルニ勉メ以テ此ノ  
前途有望ナル製紙ノ完成ヲ期スヘシ

香川縣 本縣ノ出品ハ其數八十八點ニシテ出品人員四十七名ナリトス今回ノ出品ハ主トシテ糞製紙ニ  
シテ大幅物多ク技術上ノ進歩ヲ認ムヘキモノナキニアラスト雖トモ紙質概シテ粗惡ニシテ見ルヘキ  
ノ佳品ナシ是レ畢竟當業者生平抄造上ニ注意ノ足ラサルニ職由セスンハアラスト今後宜シク原質ヲ精  
選シ煮熟晒白抄造等ニ注意シ既得ノ技術ヲ應用シテ教科書用紙等ノ上等紙ヲ製スルニ務ムヘシ半紙  
大半紙等ノ中寸尺不足ナルモノアリ下級ノ需用品トシテハ甚シキ支障ナカルヘシト雖トモ宜シク速  
カニ其ノ改良ヲ圖リ以テ良品ヲ製出シ販路ノ擴張ヲ努ムヘシ



兵庫縣 本縣ノ出品ハ四十五點出品人員二十二名ニシテソノ種類ハ糞混合紙ニ次クニ名鹽紙及改良半紙ナリトス糞製紙ハ未タ岡山縣ニ及フ能ハサルモノ、如ク名鹽紙ハ金打用銀打用等ニ最モ適當ニシテ其ノ製法亦見ルニ足レリ改良半紙ハ未タ其ノ澆質等ニ注意ノ足ラサル處アルカ如ク其他楮製半紙ニ至リテモ亦原料ノ漂白及抄造ノ方法并ニ澆質等ニ於テ缺クル處少ナカラサルハ惜ムヘシ

新潟縣 本縣ノ出品ハ十五點人員十四名ニシテソノ中紙ハ概シテ舊法ニ據リ製出セルモノ、如シ伊澤紙ハソノ製法稍ヤ可ナルモノニ屬スヘシト雖トモ更ニ抄造法ヲ改メ廣幅抄造器械ヲ用ヒテ其ノ工費ヲ省キ價格ヲ低廉ニスルヲ得ハンソノ利益少ナカラサルヘシ美濃紙等ニ至リテハ全ク此地方ノミノ需用品タルニ過キササルモノ、如シ宜シク製造法ヲ更メテ新式ヲ採リ寸尺ヲ改メテ紙幅ヲ一定ニシ以テ一般ノ需用ニ應スルコトニ努ムヘシ

原料ノ出品ハ僅カニ一點ナリシカ原質劣等剝製亦宜シキヲ得スシテ見ルニ足ラス

大阪府 本府ノ出品ハ六十一點出品者僅カニ六人ニシテ其ノ大部分ハ金銀箔押紙、文庫紙、元結紙、野紙等ノ如キ加工紙ニシテ製紙ハ僅カニ數點ニ過キスソノ品質亦金銀箔押紙、元結紙ヲ除クノ外見ルニ足ルモノナカリシハ遺憾ナリ

愛知縣 本縣ノ出品ハ森下紙ト稱スルモノ僅カニ一點ニシテ物産ノ増殖ニ熱心ナル本縣ノ出品トシテハ實ニ一驚ヲ喫セサルヲ得サルナリ抑モ本縣ハ扇子團扇提燈等ノ紙製品ノ產出年額四十萬圓ヲ下ラ

ス從テ之レカ必須ノ原料タル紙ヲ要スルコト亦尠ナシトセス故ニ斯業ヲ發達振興セシメテ其ノ需用ノ途ニ充テンニハ本縣産業ニ資スルコト尠少ニアラサルヤ疑ヲ容レサルナリ

木蠟審査報告

第七回關西府縣聯合共進會ニ於ケル木蠟ノ出品ハ總數僅カニ七十八點出品人員七十名ニシテ之ヲ府縣別スレハ京都府四點一人兵庫縣一點一人福井縣一點一人愛媛縣五十九點五十五人高知縣一點一人島根縣八點七人新潟縣二點二人山口縣二點二人ニシテ乃ハ其ノ大部分ハ愛媛縣ノ出品ニ係リ且ツ優品多クシテ品位整然一定シ頗ル美觀ヲ呈セルハ實ニ本邦第一ノ木蠟產出地タルニ耻テサルナリ

凡ソ木蠟製造ニ於テ最モ注意スヘキハ原料ノ撰擇製造ノ方法及形狀ノ整一ニアリ然ルニ愛媛縣今回出品ノ生蠟中ニハ昨年ノ櫛實ヲ一昨年ノモノト混シタルモノアルヲ見ル此等ハ製法及ヒ形狀ニ於テ間然スル所ナシト雖モ製品稍ヤ黒色ヲ帶ヒ色澤實ニ見ルヘカラサルモノアリ注意スヘキナリ又タ晒蠟ニ於テハ之ヲ溶融セシメテ模型ニ鑄入スルノ際火力緩ニ失スルモノアルカ爲メニ數多ノ不純物十分沈降スルコト能ハス遂ニソノ製品ヲシテ黒色ノ班點ヲ帶ハシメ或ハ固有ノ色澤ヲ失ハシムルモノ少ナカラサルハ惜ムヘキナリ

兵庫縣ノ晒蠟ハ素ヨリ愛媛縣ノ製品ニ比肩スルコト難シト雖モ原質甚タ惡シカラス唯タ色澤佳良ナラサルノ缺點アルノミ



其他ノ府縣ノ出品ハ大率子見ルヘキノ良品ナキヲ以テ茲ニ批評ヲ下スノ必要ヲ認メス  
今回ノ出品中ニハ青俗ヲ混シテ色澤ヲ増シ又ハ油類ヲ混シテ製スルカ如キ不正品ト認ムヘキモノナカ  
リシハ慶賀スヘキナリ

竹細工、指物、扇子、團扇、傘、提灯審査復命書

富山縣主催第七回關西府縣聯合共進會出品第二十四類竹細工及ヒ指物第二十五類扇子、團扇、傘、提  
灯ニ關スル審査意見及ヒ將來改良ノ要點等別冊之通記述致シ臺覽ニ供シ候也

第七回關西府縣聯合共進會

竹細工、指物、扇子、團扇、傘、提灯

審査官 本野英吉郎

全 伊東義豐

全 竹下直次郎

明治三十三年九月

農商務大臣會禰荒助殿

竹細工審査報告

竹細工類出品ハ京都、大阪ノ二府兵庫、奈良、富山、岡山、高知、新潟、香川、石川、徳島、福井、  
愛媛ノ十一縣トス就中京都、大阪、兵庫等出品最モ多ク其他ハ僅ニ二三點タリ左ニ各府縣ニ就テ審査

概況ヲ叙スヘシ

京都府 竹器類ハ抹茶ニ屬スル器具多ク從來ヨリ茶家諸流ノ各式ヲ出スニ過キス其製作ハ精巧ナリ然  
レトモ特種ノ考案ヲ施シタルヲ認メス且價不廉ナリ輸出ニ供スル寄竹細工物等ハ精巧今後外人ノ嗜  
好ニ適スルコトヲ勉ムヘシ其他竹編物等モ巧ナリ

大阪府 盛籠、花籠、菓子器盆、籠籠ノ類ニシテ何レモ其編方精巧ナリ専ラ支那製ノ籠籠類ノ編方ヲ  
模造シタルモノニシテ著シク進歩シタリ

奈良縣、茶栓ハ從來ヨリ同縣ノ特産ニシテ抹茶家諸流ノ各式ニ因リテ製造シタルモノニシテ製品巧其  
價廉ナリ

兵庫縣 ハ室内裝飾器具ニシテ専ラ輸出ヲ目的トシテ工作ノ著シク進歩セルヲ見ル價廉ナリ其他支那  
籠籠ノ編方ヲ以テ製シタル盛籠、花籠、菓子器盆等ハ編方精巧ナリ然レトモ古色ヲ附着スルニ濃キ  
ニ過クルノ感アリ今後着色ニ注意センコトヲ望ム

富山縣 竹製筆筒一二個ノ彫刻ハ巧ナレトモ其他竹器ノ彫刻物等ニ至リテハ拙劣ヲ免レス

岡山縣 提籠及ヒ竹編膳ハ編方精巧ナリ支那製籠籠ノ編方ヲ模造シタルモノニシテ著シク進歩シタリ  
然レトモ今一層緻密ニ編シ上部ニ鈔シク漆ヲ濃ク塗抹スレハ佳良ナリ

高知縣 魚籠及ヒ桑葉篩等普通ノ編方ニシテ價廉ナリ清笛尺八等ニ至リテハ竹質惡シクシテ實用ニ適



セス價高キニ過ク紙漉用麻ハ編方精巧ナリ

新潟縣 ハ竹根ヲ以テ菓子器其他ノ器物ヲ製作シ就中急須ハ竹臭アリ實用ニ適セス此ノ臭氣ヲ除去スルヲ良トス煎斗筵筒等ノ彫刻物ハ拙劣ヲ免レス今後形狀及ヒ其他ヲ改良シ輸出品ニ着眼スルコト肝要ナリ

香川縣 ノ提籃其他籠類及ヒ玩具ノ小籠ハ價廉ナリ今一層編方ニ注意スルヲ要ス

石川縣 ノ鑿石洵汰用箒ハ編方堅牢ナリ徳島縣ノ箒類ハ不廉ナリ愛媛縣提籃若クハ小籠類ノ玩弄物ハ價廉ナリ他府縣製造品ヲ参照シ今一層編方ニ注意ヲ要ス

之ヲ要スルニ竹器ナルモノハ後年ニ至リ漸々蟲ヲ生シ以テ使用ニ適セス故ニ最初竹材ニ含蓋スル所ノ糖分ヲ十分ニ除去スルヲ要ス最初竹材數々ヲ水ニ投入シテ數ヶ月ヲ經過シテ後チ之レヲ採リ出シ能ク蒸テ乾燥シ細工物及ヒ彫刻ニ供スルコトハ支那地方ニ於テ普通ニ行ハル、所ナリ且ツ同國竹ノ編物ニ於ケルモ籃籠ノ角々摩擦多キ部杯ハ生皮ヲ張り又ハ金具杯ヲ附着シ堅牢ヲ專ラトナシ籠ノ上部ニハ漆ヲ塗抹スルナリ故ニ永久使用ニ耐ヘ得ヘキモ本邦産ノモノハ破損シ易シ今後一層此點ニ注意ヲ要ス本會陳列中竹器ノ内徹ヲ生シタルモノヲ見ル如斯不完全ナル器具ハ漸々蟲ヲ生スル患アリ竹彫刻品ニ於ケルモ本邦製ノモノト支那製ノモノト比較スレハ幼稚タルヲ免レス

指物審査報告

二十四類 指物ハ京都、大阪二府富山、新潟、福井ノ三縣ナリ其他ハ一二點タリ

京都府 ハ抹茶ニ屬スル器具多ク文臺、書棚、風呂先、簞笥、箱類等ナリ茶器ニ屬スル部分ハ茶家諸流ノ其式ニ因リテ製作シタルモノニシテ製作品ハ精巧ナレトモ價不廉ナリ寄竹指物及ヒ簞笥等ハ精巧ナリ同府陳列棚中ニ文臺杯ハ木材乾燥不充ナルカ或ハ接合部不完全ナルヨリ接合目ニ離脱シタルモノアリ如斯コトハ製作後秋季ノ氣候ニ遭遇セルニ因ルナランカナレトモ甚シキ失体ト言ハサルヲ得ス

大阪府 指物ハ文具及ヒ煎茶器、室内裝飾品若クハ簞笥等ノ類ナリ紫檀器具ハ同府ノ特産ニシテ價廉ナリ紫檀器具ハ大体支那製ノ模造品ニシテ著シク進歩シタリ然レトモ透シ彫杯ハ未タ不充分ナリ今一層注意スヘシ在來大阪製ノ紫檀ノ製品ハ木材乾燥不充且ツ接合部惡シク離脱スルノ患アリ支那製ノ如ク木材ヲ能ク乾燥シ接合目ハ必ス膠ヲ用キ裏面接合部ニハ布ヲ張り上部ニ十分ニ漆ヲ塗抹スルコト肝要ナリ大阪製ノモノハ煮皮ヲ用ユルカ故ニ直チニ離脱スルノ患アリ注目スヘキコトナラスヤ紫檀製ノ内ニモ輸出向ノモノモアリ今後外人ノ嗜好ニ投スルコトヲ務ムヘシ其他桐製簞笥類ハ精巧ナリ然ルニ陳列品中簞笥金具則チ引手等ノ位置不正ノモノアリ如斯コトハ出品人能ク注意ヲ要ス富山縣 ハ書棚、茶棚、文臺、煙草盆、火鉢、風呂先、欄間等ニシテ就中都テノ指物類ハ本會二府ノ出品製作ニ不及然レトモ他縣ノモノト比較スレハ優等ナリ欄間杯ハ同縣特産ナリト雖トモ之レ等ハ



精巧ナルモノト認ムル能ハス指物類及ヒ欄間トモニ價不廉ナリ

新潟縣 指物類ハ寄木細工、煙草盆等ニシテ寄木細工ハ精巧ナレトモ意匠ニ乏シ桐製二重簞笥ニ於テ

モ精巧ナリ然レトモ引手金具ニ急須形ノ金具ヲ附着シタルハ不可ナリ今後製作ニ注意ヲ要ス

福井縣 指物ハ紫檀製視箱、茶棚、桐製簞笥等ニシテ就中紫檀細工ハ大阪府出品紫檀ト比較スレハ劣

レリ桐製簞笥ハ精巧ナリ今後製作ニ注意ヲ要ス

之ヲ要スルニ本會出品指物類ヲ審査スルニ本邦製ノモノト外國製指物ト技工上比較スレハ外國製ノモ

ノ組合或ハ接合目堅牢ナリ本邦製ノモノハ堅牢ト認メ得ヘキモノナシ最初木材乾燥不十分ナルカ故ニ

微ヲ生シ木材乾燥スルニ隨テ收縮シ終ニ離脱スルモノアリ憾トス且ツ本邦ニテハ從來ヨリ松、杉、桐材

ノ如キモノハ都テ板ノ接合目ハ必ス糊ヲ以テ接合スルモノナレハ後年ニ至リ蟲ヲ生スル等ノ患ヘ多ク

外國製ノモノ都テ膠ヲ用ユルガ故ニ其患アルコトナシ

扇子、團扇、傘、提灯審査報告

扇子、團扇、傘、提灯ハ京都、大阪二府奈良、岡山、島根、富山、廣島、高知、石川、愛知、福井、

愛媛、徳島ノ十二縣ナリ

扇子

京都府 扇子ハ中啓舞扇及ヒ輸出向扇子ニシテ同府ノ特産ナレトモ本會ニハ出品尠ク製作精巧ナリ輸

出向扇子モ一二點ニシテ上等品少カリシハ遺憾ナリ

大阪府 扇子ハ謠曲用扇子、舞扇子ト普通扇子ニシテ本會出品尠ク京都出品ト比較スレハ少シク劣レ

リ輸出向扇子一二點ニシテ上等品尠ク普通品而已遺憾トス

奈良縣 扇子ハ普通品ニシテ只一二點ニ止マリ精巧ノモノナシ

團扇

石川縣 ノ團扇ハ同縣ノ特産ナリ輸出向ノモノ多ク模様及ヒ繪畫版ハ鮮明ナリ然レトモ團扇面ニ浮繪

杯ヲ附着スルハ如何アランカ他縣ノ出品ノモノト比較スレハ優等ナリ今後輸出品等ハ外人嗜好ニ投

スルコトヲ勉ムヘシ

奈良縣 ノ團扇ハ繪畫雅致ナレトモ其價廉ナラス

岡山縣 團扇特産ニシテ精巧ナレトモ價廉ナラス

島根縣 團扇特産ニシテ堅牢ナリ團扇面ヨリモ採柄異形ノ竹ヲ用イタルニ過キスシテ價廉ナラス

富山縣 ノ團扇ハ普通ノ製作品ニシテ價廉ナラス

之ヲ要スルニ本會出品扇子及ヒ團扇ヲ審査スルニ二種ノ製品トモニ輸出向キノ外進歩ノ點ヲ見ス扇子

ハ使用ノ點ヨリモ繪畫其他裝飾等ニアルモノ、如シ彼ノ朝鮮製扇子杯ハ紙面ノ繪畫ハ粗ナレトモ使用

上釣合能ク竹骨ノ製作ハ本邦製ノモノト比較スレハ同國ノモノ精巧ナリ今後外國製ノモノヲ參照シ尠

扇子、團扇、傘、提灯審査報告



シク改良シテハ如何團扇ニ於テハ輸出品ヲ除クノ外都テノ團扇ニ於ケルモ繪畫版面鮮明其他裝飾美麗ナレトモ大体紙面ノ纖維離脱シ風切リ惡シク使用ニ耐ヘス加之間々腰骨弱ク破損ノ憂多ク只飾物ニ供スルモノ、如ク外國製ノモノ、如ク數年ノ使用ニ耐ヘ得ヘキモノニアラス本邦製ノ漆引キカ若クハ濫團扇杯ハ實用ニ適スルモノナリ今後製作等ニハ竹骨ノ削リ方ニ注意シ團扇面ノ纖維ヲシテ離脱セサル様一種ノ糊料ヲ製シ塗抹シテハ如何元來歐米等ニ輸出スル飾團扇ハ素ヨリ實用ニ適スル上等ノモノハ專ラ支那廣東ヨリ輸出スル由左スレハ當業者ハ今後外國品モ参照シ内國向キ輸出向ニ論ナク飾團扇及ヒ實用團扇共ニ改良ニ心掛ケ舊套ヲ脱センコト肝要ナリ

傘及ヒ提灯

京都府 傘ハ普通品ニシテ他府縣ノモノト比較スレハ優等ナリ

大阪府 傘ハ普通品ニシテ裝飾ヲ施シタルアリ夫レカ爲メ價廉ナラス今後不必用ノ裝飾ヲ廢シ今一層

堅牢ニ製スルヲ良トス

廣島縣 ノ傘ハ特産ナレト製作ハ前記二府ノモノト比較スレハ少シク劣レリ然レトモ其製作ハ堅牢ノ

モノモアリ且ツ荏油ヲ精製シ十分ニ濃ク塗抹シテ雨雪ニ耐ユルモノアリ何レノ製品トモニ價廉ナ

リ

高知縣 ノ傘ハ製作堅牢ナリ然レトモ其價廉ナラス

福井縣 ノ傘ハ普通ノ製作ニシテ其價廉ナリ

石川縣 ノ傘ハ普通ノ製作ニシテ其價高キニ過キ

奈良縣 ノ傘ハ製作堅牢ナレトモ傘骨上部ニ漆ヲ以テ繪畫ヲ書シ夫レカ爲メ價廉ナラス

香川縣 ノ傘ハ普通品ナリ然レトモ傘骨ニ漆ノ塗抹惡シク諸府縣上等ノ傘ニ比較シテ改良スルヲ要

ス

富山縣 ノ傘ハ製作普通ナリ傘柄ノ上端ヨリ下端マテ惣藤卷トナシ其他金具ヲ附着シ裝飾スレトモ夫

レカ爲メ價廉ナラサルモノアリ嶋根、愛媛、徳島ノ三縣ハ普通ノ製品ナリ諸府縣上等ノ傘ヲ参照シ

改良スルヲ要ス

之ヲ要スルニ傘ノ種類日傘、雨傘等シニテ日傘ハ輸出向ノモノアリ最モ二種ノ内雨傘ヲ主眼トス本會大阪及ヒ富山ヨリ出品シタル雨傘ニ傘骨百本ヨリ百二十本若クハ百五十本等ノ多數骨ヲ以テ製シタルモノナリ技術上ノ點ヨリ見レハ精工ナリト云ヘトモ實用ニ適セス普通使用スル所ノ雨傘ハ骨數ハ凡四十本ヨリ六十本位マテヲ使用上適當トス本會出品ノ雨傘ヲ審査スルニ多クハ微弱ニシテ永ク使用ニ耐ヘ難キモノ等アリ如斯製作ハ今後改良ニ注意ヲ要ス傘製造ニ於テハ第一竹質及ヒ其ノ削リ方ニ注意シ第二ニハ紙質ノ善惡第三ニハ内外周圍ノ竹骨ヲ纏メタル絲ハ最モ堅牢ナル絲ヲ製撰シ第四ニハ荏油ヲ能々精製シテ充分濃ク塗抹用ユレハ永ク使用ニ耐ユルモノトス而シテ漸々輸出ヲ企圖スルヲ得ヘク然



シテ本邦製ノ雨傘ハ外見ヲ能クスルカ爲メ裝飾ヲ附スルコト專一トス雨傘紙ニ模様ヲ附着シ或ハ紙ニ  
様々ノ模様杯ヲ染出シ傘柄彈機ニハ象牙ヲ以テ器具等ノ形狀ヲナシタルモノヲ附着シ若クハ操柄ヲ惣  
藤卷ニナシ上部ニハ金具ヲ附着シ加之傘骨ノ上部ニハ漆ヲ以テ繪畫ヲ書ス斯ル不必用ナル技工ヲ要ス  
ルカ故ニ隨テ價貴ク本邦製ノ雨傘ハ大体在油ヲ塗抹スルニ薄ク直チニ黒色ヲ帶ルモノナリ如斯結果ヲ  
生スルモノナレハ特ニ改良シ完全ナル風雨ニ耐ユル傘ヲ製造スルコトヲ望ム且ツ輸出向ノ傘類ハ暖國  
ニ於テハ竹骨ニ處テ生スルノ憂ヘアルモノナレハ是レ等ノ事項ニモ能ク注意スヘシ

提灯

京都府 ノ提灯ハ白張及ヒ油引キ若クハ繪提灯ナリ白張及ヒ油引キ提灯ハ精巧ナリ繪提灯ナルモノハ  
之レヲ一般岐阜提灯ト唱フ製作ニシテ近來ニ至リ何レノ府縣ニ於テモ製作シ何レモ之レ等ノ製作ニ  
優劣アルヲ認メス繪畫ノ善惡其彩色或ハ裝飾物ヲ附着スルノ多少ニ因リテ優劣ヲ附シ得ラル、モ概  
シテ普通品ナリ大阪府ノ飾提灯ナルモノハ上部ニ物体則チ人形ノ如キモノヲ附着シ提灯ノ梓上下ニ  
漆ヲ以テ塗抹シ金具其他總ヲ附着シタル白張提灯ヲ竹ノ梓ニ釣リ之レヲ臺ニ挿入シタル一種ノ飾提  
灯ニシテ何レモ湊合ヨリ成リ立チタル製品ナリ只同府下ニ而已使用ナスモノ、由單ニ美麗ナル一種  
特別ノ提灯ナリト評スヘシ其價廉ナリ富山縣ノ提灯ハ白張油引キ等ノ提灯ハ他縣出品ノモノニ比較  
スレハ優ル點アリ石川縣及ヒ愛知縣ノ飾提灯ハ京都府出品ノモノト同一タリ石川縣ノモノハ提灯上

下ノ梓ニ漆繪ヲ書シタルニ止マリニ縣トモニ普通品ナリ今後外人ノ嗜好ニ適スル様勉ムヘシ

漆汁、清酒及醬油審査復命書

第七回關西府縣聯合共進會出品漆汁、清酒、醬油審査官トシテ出張ノ命ヲ拜シ六月廿七日富山市ニ着  
直チニ審査準備ニ着手シ七月六日審査員ヲ招集シ審査法ヲ説明シ直チニ現品ノ審査ニ着手シ七月五日  
擬賞ヲ了シタリ茲ニ審査ノ概況ヲ具シ謹テ閣下ノ瀏覽ニ供ス

明治三十三年十月八日

漆汁、清酒、醬油審査官

農商務技手 村岡 坦

農商務大臣會禰荒助殿

漆汁審査報告

漆汁審査員

- 京都府 加藤 小兵衛
- 福井縣 丸山 久右衛門
- 富山縣 大場 庄三郎

本品ヲ出品セルモノハ聯合府縣中二府七縣ニシテ出品人員數百九其出品點數二百六十八就中主ナルモ

漆汁審査報告



ノヲ福井縣及京都府トス福井ノ出品ハ主トシテ生漆ニシテ京都ノ出品ハ主トシテ製漆ナリ出品細別表ヲ擧クレハ左ノ如シ

府縣名	出品人員數	出品點數
京都府	一一	六二
大阪府	六	三〇
石川縣	四	一〇
福井縣	七九	二〇
愛知縣	一	二
香川縣	一	四
岡山縣	一	二
新潟縣	一	四
富山縣	一〇五	二四
計	一〇九	二六八

之ニ就テ今回施行セル漆汁審査法ハ次ノ如シ

漆汁審査法

第一 鑑定

- 第一項 品質 漆液ノ良否ヲ審査ス
- 第二項 色澤 色彩ノ良否光澤ノ如何ヲ審査ス
- 第三項 乾燥 乾燥ノ遲速ヲ審査ス
- 第四項 需用、價格 需用ノ廣狹、價格ノ適否等ヲ審査ス

第二 調査

出品者ノ業況、功績等ヲ調査ス

生漆ノ審査ハ大体肉眼鑑定ニ止メタリト雖モ製漆ノ審査ニ至リテハ特ニ機械的鑑定法ヲ施行セリ其方法最初各製漆ヲ品種ニ分チテ一片ノ硝子板ニ塗布シ之ヲ全一ノ漆風呂ニ入レテ乾燥シ乾燥ノ遲速ヲ審査シ又色彩ノ良否光澤如何ヲ審査シ更ニ又之ヲ密閉シタル蒸風呂ニ入レ攝氏百度ノ蒸氣ヲ以テ蒸スコト二十五分ヨリ百五分ニ至リ之ニ由リテ生スル變化ノ状態ヲ鑑定シ以テ漆液ノ良否ヲ審査セリ左ニ第三法ノ結果ニ依ル品質ノ善惡ヲ縣別ニ比較セン

京 都	總 二十五分間 七十分間全	ナ經テ變化 セサルモノ 數	梨子地漆本朱合漆 研出臘色漆 飽臘色漆 箱下臘色漆 春慶漆 溜漆				
			六	八	七	三	二
上	四	六	七	三	二	三	二
漆汁審査報告	五	七	三	二	三	二	二
漆汁審査報告	五	七	三	二	三	二	二
漆汁審査報告	五	七	三	二	三	二	二







石川縣	福井縣	愛知縣	香川縣	岡山縣	新潟縣	富山縣	計
一	一	一	一	一	一	一	一
二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	三	三	三	三	三	三
四	四	四	四	四	四	四	四
五	五	五	五	五	五	五	五
六	六	六	六	六	六	六	六
七	七	七	七	七	七	七	七
八	八	八	八	八	八	八	八
九	九	九	九	九	九	九	九
一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇
一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一
一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二	一二
一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三	一三
一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四	一四
一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五	一五
一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六	一六
一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七	一七
一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八	一八
一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九	一九
二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇	二〇
二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二	二二
二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三	二三
二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四	二四
二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五	二五
二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六	二六
二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七	二七
二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八	二八
二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九	二九
三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇
三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一
三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二	三二
三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三	三三
三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四	三四
三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五	三五
三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六	三六
三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七	三七
三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八	三八
三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九	三九
四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇	四〇
四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一
四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二	四二
四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三	四三
四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四	四四
四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五	四五
四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六	四六
四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七	四七
四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八	四八
四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九	四九
五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇	五〇
五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一
五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二	五二
五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三	五三
五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四	五四
五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五	五五
五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六	五六
五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七	五七
五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八	五八
五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九	五九
六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇	六〇
六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一
六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二	六二
六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三	六三
六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四	六四
六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五	六五
六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七	六七
六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八	六八
六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九	六九
七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇	七〇
七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一	七一
七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二	七二
七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三	七三
七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四	七四
七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五	七五
七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六	七六
七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七	七七
七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八	七八
七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九	七九
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇
八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二	八二
八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三	八三
八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四	八四
八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五	八五
八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六	八六
八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七	八七
八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八	八八
八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九	八九
九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
九一	九一	九一	九一	九一	九一	九一	九一
九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二	九二
九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三
九四	九四	九四	九四	九四	九四	九四	九四
九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五	九五
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六
九七	九七	九七	九七	九七	九七	九七	九七
九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八	九八
九九	九九	九九	九九	九九	九九	九九	九九
一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇	一〇〇

清酒審査報告

清酒審査員

京都府 竹内爲次郎  
 兵庫縣 若林與兵衛  
 全 和泉萬助  
 大阪府 肥塚源次郎  
 全 小山松兵衛  
 愛知縣 内田七郎兵衛

本品ハ聯合府縣ヲ通シテ盡ク其出品アリ其點數ニ千百三十八之ヲ府縣ニ分テハ左ノ如シ

府縣名	出品點數	府縣名	出品點數
京都	八〇	德島	三一
大阪	五一	岡山	九〇
兵庫	五九	奈良	三五
石川	一〇九	島根	一〇八
福井	六五	廣島	一三三
愛知	二五	山口	四三
香川	五二	新潟	六四
愛媛	二一	富山	一三七
高知	五六	計	一、一三八

之ニ就テ今回施行セル精酒審査法ハ次ノ如シ

清酒審査法

清酒審査報告



第一 鑑定

- 第一項 品位 色澤、香味ノ佳否ヲ審査ス
- 第二項 品質 貯藏ノ適否ヲ審査ス
- 第三項 價格 價格ノ適否ヲ審査ス

第二 調査

出品者ノ業況功績等ヲ調査ス

清酒ハ此聯合共進會ノ出品目中ニ入りシハ今回ヲ以テ始メトス今回ノ出品ニ就テ左ニ其大体ヲ概評セシ  
 今回ノ聯合府縣中主産地ト稱セラル、モノハ兵庫縣灘及愛知縣知多トシ大阪府堺之ニ次キ其他ハ特ニ稱スヘキモノナシ灘ハ釀造ニ關シ學術上ノ講究ニ力ヲ盡スコト尠シト雖モ自ラ特有ノ技能ヲ有シ卓絶ノ製品ヲ出シ常ニ全國ニ冠タリ今回ノ出品ノ如キモ亦然リ香味、色澤共ニ佳良逸品最モ多シ知多ハ其製品ニ於テ尙ホ灘ニ一歩ヲ讓ルト雖モ然モ其進歩ノ著シキニ於テハ全國之ニ比スヘキナク之ヲ今回ノ出品ニ徴シ殊ニ其然ルヲ認ム今日ノ勢ヲ以テスレハ途ニ其製品ヲシテ天下ニ冠タラシムルハ近キニアルヘシ堺亦學術ノ應用ニ力ヲ盡シ進歩ノ著シキヲミル然レトモ未タ其製品ノ上ニ於テ灘及知多ニ及ハサルコト多シ

以上ノ外他ノ諸縣ニ於テハ特ニ著シキモノナシト雖モ廣島及京都ノ如キハ其優ナルモノカ品質何レモ佳良擧ケ稱スルニ足ル

腐敗ハ釀造ノ巧拙ニ大ナル關係ヲ有ス巧ナル釀法ニヨレルモノハ腐敗ノ恐少ク拙劣ナル釀法ニヨルモノハ腐敗シ易シ之ヲ防カンカ爲メ防腐藥ヲ用ユルコト一般ニ行ハル防腐藥ハ種々ノモノヲ使用スト雖モ今日最モ多ク使用スルモノハ「サルチル」酸ナリ今回ノ出品ニ就テ腐敗酒ノ數及假ニ「サルチル」酸ノ有無ヲ檢シタル結果ヲ示セハ左表ノ如シ

審査及検査 セル月日	府縣名	「サルチル」酸ノ有 無ヲ検査セル數	「サルチル」酸ヲ含 有スルモノノ數	審査セル點數	腐敗セル モノノ數
七月十二日	高知	四四	三七	四四	〇
全十三日	愛知	二二	六	二二	〇
全十四日	兵衛	五六	一四	五六	〇
全十四日	大田	四八	一五	五〇	〇
全十六日	富山	一一	二九	一一	〇
全十七日	奈良	一九	八	一九	〇
全十七日	徳島	二六	二	二六	〇
全十八日	新潟	六〇	二〇	六〇	一
全十八日	京都	七〇	一八	七〇	〇
全十八日	廣島	一〇四	一五	一一一	一

清酒審査報告

二百四十七







本品ヲ出品セルモノハ聯合府縣中一府十五縣ニシテ出品總數ハ六百十七點人員ハ四百五十五名ナリ其府縣ヲ分テハ左ノ如シ

府縣名	出品人員	出品點數	府縣名	出品人員數	出品點數
島根	二二	二八	富山	七四	七五
福井	二一	三五	大坂	二〇	三九
石川	一六	二二	香川	六三	七二
山口	二四	二九	岡山	四四	六一
徳島	一八	一八	兵庫	三八	七二
愛媛	〇	一六	愛知	三二	七三
廣島	三七	四〇	高知	一	一
奈良	二九	三四	計	四五五	六一七
新潟	一七	二二			

之ニ就テ今回施行セル醬油審査法ハ次ノ如シ

醬油審査法

第一 鑑定

第一項 香氣 香氣ノ有無善惡ヲ審査ス

第二項 色澤 色ノ濃淡ハ地方ノ嗜好ニ鑑ミ其適否ヲ光澤ハ其純正如何ヲ審査ス

第三項 味 味ノ佳否ヲ審査ス

第四項 需用、價格 需用ノ廣狹、價格ノ適否ヲ審査ス

第二 調査

出品者ノ業況功績等ヲ調査ス

醬油ハ此聯合共進會ノ出品目中ニ入リシハ今回ヲ以テ始メトス故ニ之ヲ前回ノ成績ニ比シ其進歩ノ狀況等ヲ述フルコト能ハスト雖モ今回ノ出品ニ徴シ其大体ヲ概評セシ

今回ノ聯合府縣中世ニ主産地ト稱セラル、モノハ愛知、岡山、香川及兵庫ノ四縣ニシテ其出品亦可良之ヲ他地方ノ品質概テ大ニ小異特ニ稱スルニ足ルモノナキニ比シ遙ニ優等ノ地位ニ在リ愛知縣ノ醬油ハ溜リト稱スル種類ニシテ今回ノ出品中此種ノモノハ只愛知アルノミ其品質一般ニ甚タ佳良ニシテ今回ノ出品中特ニ一頭地ヲ抽ケリ然レトモ其需要ノ途ニ至テハ東海道ノ一部ニ限ラレ末タ廣ク全國ニ及ハサルハ遺憾トス岡山縣ノ醬油ハ俗ニ備前醬油ト稱シ其色濃厚味少シク鹹味ヲ帶フ今回ノ出品總テ佳良ニシテ主産地ノ出品トシテ遺憾ナシ香川縣ノ醬油ハ俗ニ小豆島醬油ト稱シ古來其名アリ之ヲ今回ノ出品ニ徴スルニ三四佳良ナルモノナキニ非スト雖モ之ヲ主産地ノ出品トシテハ稱スルニ足ラサルモノ亦多シ兵庫縣ノ醬油ハ俗ニ龍野醬油ト稱シ色淡キヲ以テ貴シトス此種ノ醬油ハ他ニ製造スルモノ少シ



色淡ク味良キモノハ其製造頗ル困難ニシテ得難キモノトス今回ノ出品ノ如キモ此弱點ヲ示シ一般ニ佳良ナルモノ少ナシ

以上ノ外他ノ諸縣ニ於テハ著シキモノナシト雖モ之ヲ概評スレハ奈良縣ハ色淡キ方ニシテ質佳良ナラズ他縣ニ比シ微ノアルモノ多カリシ高知縣ハ出品點數僅ニ一點ノミ未タ幼稚ヲ免レス島根縣ハ色澤、香味共ニ佳ナリ福井縣ハ二三ノ良品ナキニ非スト雖モ一般ニ不良殊ニ洋蜜ヲ加味スルハ弊ナリ石川縣ハ其品質福井ニ似タリ是亦洋蜜ヲ加味シ甘味殊ニ強ク味佳ナラス山口縣ハ品質未タ充分ノ域ニ至ラスト雖モ味ハ佳ナルモノ多シ德島縣ハ今回ノ出品ニ微スレハ大ニ佳ナリ苦心ノ跡ヲ認ム新潟縣ハ品質概テ佳ニシテ種類千葉ニ似又龍野ニ類ス愛媛縣ハ品質見ルヘキモノアリ早晚著シキ進步アルヘシ富山縣ハ未タ一般ニ佳良ノ域ニ達セス殊ニ洋蜜ヲ加味スルハ北陸ノ通弊ナリ廣島縣及大阪府是亦未タ一般佳良ノ域ニ達セス粗品多シ

審査ノ結果ニヨリ優等者五十二人ヲ得タリ之ヲ各等級ニ細別シ且府縣ニ分テハ左表ノ如シ

府縣名	賞者ノ數						計
	一等	二等	三等	四等	五等	六等	
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一
大阪					一	二	三
府縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
石川							一
兵庫			一				一</



一日ヨリ八月十九日迄日數五十日間富山縣富山市ニ於テ開設ス

第二條 本會ノ出品ハ繭、茶、麥、麥稈ハ明治三十三年一月以降ノ產品其他ノ出品ハ明治三十二年一月以降ニ於ケル各管内ノ製品ニ限ル

但シ内外國博覽會共進會等ニ出品シ審査ヲ受ケタルモノ及試作試製ニ係ルモノハ出品スルヲ得ス  
第三條 本會出品ニ關係アリテ有益ト見認ムルモノハ生産ノ土地時代ノ新古ヲ問ハス參考トシテ出品スルコトヲ得尤モ形體巨大ナルカ又ハ數量多額ノモノハ出品ヲ拒絶スルコトアルヘシ  
但シ參考品ハ非賣品ニ限ル

第二章 出品

第四條 本會ノ出品ヲ分チテ左ノ三區トス

第一區 農產物

第一類 繭

第二類 茶

第三類 米

第四類 麥

第五類 大豆

第六類 麻

第七類 葉 藍

第八類 葉煙草

第二區 工業物

第九類 生 糸

第十類 絹織及其交織物

第十一類 綿織及其交織物

第十二類 麻織及其交織物

第十三類 毛織及其交織物

第十四類 機具、箆、梭、綜統(ジャカート)

第十五類 刺 繡

第十六類 段通及油團

第十七類 染 物

第十八類 花蒔及疊表并ニ其原料(糊草)

第十九類 麥稈其原料(麥稈)



- 第二十類 陶磁器
  - 第二十一類 漆器
  - 第二十二類 金屬器
  - 第二十三類 紙及其原料(楮皮、三椏)
  - 第二十四類 扇子、團扇、提灯及傘
  - 第二十五類 竹細工及指物
  - 第二十六類 製造煙草
  - 第二十七類 漆汁
  - 第二十八類 木蠟
  - 第二十九類 製鹽(外國製法ニ依ラサルモノ)
  - 第三十類 清酒
  - 第三十一類 醬油
- 第三區 參考品
- 第五條 出品ノ數量ヲ定ムルコト左ノ如シ
- 一 藪、米、麥、大豆 一種ニ付一升

- 一 茶 一種ニ付一斤
- 一 葉煙草、葉藍、麻 一種ニ付百斤
- 一 製造煙草 一種ニ付一袋乃至三袋箱入ハ一箱乃至三箱
- 一 清酒 一種ニ付二樽乃至六樽
- 一 醬油 一種ニ付二樽乃至六樽
- 一 生糸 一種ニ付四拾乃至三十拾
- 一 織物、染物、段通、油圍、花筵、疊表、麥稈真田 一種ニ付各反物ハ一反又ハ二反反物ハ一疋又ハ二疋本ノモノハ一本又ハ二本枚ノモノハ一枚又ハ二枚尺物ハ一丈乃至五丈打ノモノハ一打又ハ二打
- 一 刺繡 織物ニ同シ但シ箇ノモノハ一箇又ハ二箇對ノモノハ一對又ハ二對
- 一 陶磁器、金屬器 一種ニ付各箇物ハ一個又ハ二個對ノモノハ一對又ハ二對組ノモノハ一組又ハ二組打ノモノハ一打又ハ二打
- 一 漆器、機具 一種ニ付束ノモノハ一束又ハ二束枚ノモノハ五枚又ハ二十枚
- 一 紙 一種ニ付各本ノモノハ一本又ハ五本箱ノモノハ一箱又ハ二箱打ノモノハ一打又ハ二打對ノモノハ一對又ハ二對個ノモノハ一個又ハ二個
- 一 扇子、團扇、提灯、傘 一種ニ付各個ノモノハ一箇又ハ二箇組ノモノハ一組又ハ二組打ノモノハ一打又ハ二打對ノモノハ一對又ハ二對
- 一 竹細工及指物 一種ニ付三百目
- 一 藪草、漆汁、製鹽 一種ニ付百目
- 一 麥稈 一種ニ付百目



一 楮皮、三椏  
一種ニ付一貫目乃至二貫目  
一木 蠟  
一種ニ付一斤乃至二斤

第六條 出品人ハ本籍寄留ヲ問ハス聯合府縣下ニ於テ出品物生産ノ製作ヲ業トスルモノ及製作ヲ業トセサルモ特殊ノ考案ヲ以テ聯合府縣下ニ於テ製作シ又ハ製作セシメタル當業者ニシテ同種ノ出品ハ一戸一人ニ限ル

但シ營業會社其他團體モ又本文ニ準シ出品スルコトヲ得ヘシト雖モ役員又ハ代表者ノ名義ヲ以テ出品スルコトヲ許サス

第七條 出品セント欲スル者ハ別記書式ニ倣ヒ出品目錄二通ヲ造リ明治三十三年三月三十一日迄ニ所轄府縣廳ヘ差出スヘシ

第八條 前條目錄ハ所轄府縣廳ニ於テ調査シ其ノ一通ヲ明治三十三年五月三十日迄ニ本會事務所ヘ送付スヘシ

第九條 出品ノ搬入搬出並ニ陳列等ハ總テ出品人又ハ其ノ代理人ニ於テ取扱フ者トス

第十條 陳列品ハ本會ノ事務所ニ於テ相當ノ保護ヲ爲スト雖モ萬一天災其他避クヘカラサル事故ニ依リ滅失又ハ損傷シタルトキハ本會其責ニ任セス

第十一條 審査ノ爲メ消耗シ又ハ引分ケ難キ出品ヲナストキハ出品者ハ審査用ニ供スルニ足ルヘキ同

種ノ物品ヲ差出スヘシ

第十二條 陳列品(第一區第八類及第三區出品ヲ除ク)ハ賣買約定ヲ爲スコトヲ得

賣買約定濟ノモノハ其札ヲ附スヘシ

第十三條 陳列品ハ開會中場ノ外ヘ搬出スルヲ許サス

但廢敗又ハ融解等ノ爲メ他ニ妨害ヲ及ホスコアリト認ムルモノハ特ニ搬出ヲ命スルコトアルヘシ

前項ニ依リ搬出ヲ命セラレタルモノニ限リ更ニ同種ノ代品ヲ陳列スルコトヲ得

第十四條 出品人又ハ代理人ニハ豫メ入場鑑札ヲ付與ス入場鑑札ハ他人ニ貸與スルコトヲ許サス

第十五條 本會規則第四條第十類乃至第十二類ノ織物ニハ藁、藤、緒、紫薇、葛、芭蕉、金屬糸、(針金)石

絨絲、紙、各種ノ樹皮ヲ以テ織リタルモノ又ハ此等ノ纖維ヲ交ヘテ織リタルモノ及仕立物ハ出品スルヲ得ス

第十六條 染物ハ織布ヲ捺染若クハ浸染シタルモノニ限ル

第十七條 金屬器ハ金銀銅器鐵瓶及刃物ニ限ル

第十八條 同第二十類ノ陶磁器中ニハ煉瓦屋根瓦敷瓦土管埴塼等ヲ出品スルヲ得ス  
但シ數瓦ニシテ外見ヲ主トスルモノハ此ノ限リニアラス

### 第三章 出品陳列

第七回關西府縣聯合共進會規則



第十九條 出品陳列ハ明治三十三年六月一日ヨリ始メ同月廿五日迄ニ了ルモノトス

但シ茶及麥、麥稈ハ七月十日爾ハ二十日マテニ陳列スルコトヲ得

出品陳列方ニ依リテハ本會事務所ヨリ變更ヲ命スルコトアルヘシ

第二十條 出品人ハ本會事務所ヨリ付與スル所ノ小札ニ區類番號品名員數代價及住所氏名等ヲ記シ毎品ニ添付スルモノトス

第二十一條 陳列品ノ價格ハ一旦揭示シタル後ハ本會事務所ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ變更スルコトヲ得ス

第二十二條 出品中現品ノミニシテ其性質効用ヲ示シ難キモノハ便宜説明書ヲ添フヘシ

第二十三條 出品ト同種ノ物品ニシテ内外國博覽會或ハ共進會等ニ於テ褒賞ヲ得タルモノハ成ルヘク其賞品褒狀又ハ其ノ模形寫圖ヲ掲クヘシ

第二十四條 出品ハ閉場ノ翌日ヨリ十日間ニ場外ヘ搬出スヘシ

#### 第四章 審査及褒賞

第二十五條 出品(第二區出品ヲ除ク)ハ總テ之ヲ審査ス

第二十六條 出品ノ審査ハ明治三十三年七月一日ヨリ始メ同月三十一日迄ニ終ルヘキモノトス

但シ茶麥、麥稈ハ同年七月十一日ヨリ始メ同月三十一日迄ニ爾ハ同年七月廿一日ヨリ始メ同月三十

一日迄ニ其審査ヲ終ルヘキモノトス

第二十七條 出品中審査上優等ナルモノハ其出品人ニ對シ一等ヨリ六等ニ至ル等級ニ從ヒ農商務大臣ヘ褒賞ノ授與ヲ請フモノトス

第二十八條 一人ニシテ數區數類ニ出品シ其出品優等ナルトキハ其ノ區類ニ於テ各褒賞ヲ得ヘシト雖モ一類内數種ヲ出スモノ、賞品ハ其内優等ナルモノ一種ニ限ルヘシ

但シ一類内ト雖トモ異種又ハ生産製造ノ異ナルモノニシテ優等ニ位スルモノアルトキハ特ニ相當ノ賞狀ノミヲ授與セラル、コトアルヘシ

第二十九條 第四條第一區及ヒ第二區ニ列記スル物品ニ關シ特別ノ功勞アルモノハ其人ノ存亡ニ拘ハラズ特ニ功勞賞ヲ授與セラル、コトアルヘシ

第三十條 褒賞授與式ハ明治三十三年八月五日ヲ以テ執行ス

第三十一條 出品ノ再審査ヲ請ヒ授與ノ褒賞ヲ拒ミ又ハ審査ノ決定ニ對シテ異議ノ申立ヲナスコトヲ得ス

#### 第五章 參觀

第三十二條 開會中ハ毎日午前八時ヨリ午後四時迄ヲ衆庶ノ參觀時限トス

但シ都合ニ依リ本文時間ヲ伸縮シ又ハ臨時入場ヲ止ムルコトアルヘシ



第三十三條 參觀人ハ必ス毎日入場券ヲ携フヘシ

第三十四條 入場料ハ十五歳以上ノ者每一人金貳錢十五歳未満六歳以上ノ者每一人金壹錢トス

但シ六歳未満ノ者ハ無料トス

第三十五條 瘋癲又ハ醉狂其他妨害ノ恐レアル者ト認ムルトキハ入場ヲ拒絕シ或ハ會場外ニ退去セシ

ムルコトアルヘシ

第三十六條 荷物ヲ携帯シ又ハ畜類ヲ率ヘテ入場スルコトヲ得ス

第三十七條 陳列場内ニ於テ吸煙スルコトヲ得ス

第三十八條 參觀人ハ府縣委員若クハ看守人ノ承諾ヲ得ルニ非サレハ出品ニ觸ルコトヲ得ス

第三十九條 出品ヲ摸寫シ又ハ會場ヲ撮影セント欲スルモノハ本會事務所ノ承諾ヲ受クヘシ

第六章 事務

第四十條 本會ニ事務所ヲ設ケ左ノ職員ヲ置ク

事務長	一人	審査長	一人
事務委員長	一人	審査官	若干人
事務委員	若干人	審査員	若干人
書記	若干人		

第四十一條 事務長ハ開設地ノ知事ヲ以テ之ニ充テ本會一切ノ事務ヲ統理スルモノトス

事務長事故アルトキハ事務委員長ニ代理セシメ又事務ノ幾部ヲ委任スルコトアルヘシ

第四十二條 審査長及審査官ハ農商務省ヘ其派出ヲ請フモノトス

第四十三條 審査長ハ審査ニ關スル諸規程ヲ定メ審査事務ヲ統理ス

審査官ハ審査長ノ指揮ヲ受ケ出品ノ審査及之ニ關スル事務ヲ分掌スルモノトス

第四十四條 事務委員長ハ開設地ノ内務部長ヲ以テ之レニ充テ事務長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ調理スルモノトス

事務委員長事故アルトキハ事務委員中ニ就キ代理ヲ命シ又ハ事務ノ幾分ヲ委任スルコトアルヘシ

第四十五條 事務委員ハ府縣委員ノ中ヲ以テ之ニ充ツ

事務委員ハ事務長及ヒ事務委員長ノ指揮ヲ受ケ分掌ノ事務ヲ整理スルモノトス

第四十六條 事務長ハ事務ノ狀況ニ應シ特別委員ヲ囑託スルコトアルヘシ

第四十七條 審査員ハ審査長ノ指名ニヨリテ事務長之ヲ囑託ス

審査員ハ審査長及審査官ノ指揮ヲ受ケ審査ニ従事スルモノトス

第四十八條 書記ハ事務長之ヲ選任ス

書記ハ事務委員長及審査官ノ指揮ヲ受ケ記録計算ニ従事スルモノトス



(目錄書式)用紙美濃紙

第七回關西府縣聯合共進會第何區第何類目錄並解說

何府縣何國何郡市何町村大字何町村何番地

出品主 何ノ 謹

番 號	品 名	方 言	數 量	買 價
	解 說 (蘭)			
	種 類			
	名 稱			
	掃立毛蠶量	出品同一ノモノ掃立量		
	飼 育 法	溫暖育清涼育等ノ區別ヲ示ス		
	産 額	何石何斗 何百何拾圓		
	褒 賞	博覽會等ニテ褒賞ヲ受ケタルモノハ之ヲ記スヘシ		

右出品候也

年 月 日

何府縣知事 何某殿

(備考)

目錄ハ一類毎ニ別紙ニ認ムヘシ

番號ハ一類毎ニ起スモノトス

生絲以下ノ解說ハ下ノ記載ニ依ルヘシ

但シ褒賞ノ項ハ以下各種共前例ニ倣フ

茶解說例

茶 園 反 別	生 絲 收 量	産 額
	(本項ハ其摘採セシモノハ芽茶ノ收量又其他ヨリ購入セシモノ其數量ヲ區別シ掲クヘシ)	(何百何拾斤) 何千何百圓

農産物(繭茶ヲ除ク)解說例



耕作反別	米、麥一家ノ作附段別其收穫品ノ種類及出品ノ各種ニ對スル段別其地價
土質	砂土、壤土、埴土、礫土等ノ別
收穫	出品ノ各種ニ對スル一反歩ノ收穫高
產額	何十何石又ハ何十何貫目何百何拾圓

生糸解說例

種類	器械製又ハ坐繰製
製造ノ區別	機力人力水力等ノ區別
產額	何百何十何貫目 何千何百圓

工產物(生絲ヲ除ク)解說例

製造法	何々(普通ナレハ記載セサルモ妨ナシ)
產額	一ケ年製造高及其價額

褒賞一覽表

(△印アルモノハ同一種類内ニ於テ二個以上ノ褒賞ヲ得テ賞狀ノ下賜ノ分ナリ)

府縣出	品	一等賞	二等賞	三等賞	四等賞	五等賞	六等賞	計
-----	---	-----	-----	-----	-----	-----	-----	---

都	京	茶	米	麥	大豆	麻	葉藍	葉煙	生絲	絹織及其交織物	綿織及其交織物	麻織及其交織物	毛織及其交織物	機具	刺繡	段通及油圍	染物	花造及疊裏并其原料	麥稈其田其原料	陶磁	漆器	金屬器	







石										縣											
繭	茶	米	麥	大	麻	葉	葉	生	綿織及其交織物	緞織及其交織物	計	紙及其原料	扇子團扇提灯及傘	竹細工及指物	製造煙草	漆汁	木蠟	製蠟	清油	醬油	
											二										
											九										
											一三										
											二										
											二五										
											六五										
											一二六										
四	八	一	三	三	八	二	二	六	二	二	四	二	一	二	四	二	一	二	二	四	二
四	二	二	七	一	八	四	三	二	四	二	四	二	一	二	四	二	一	二	二	四	二

二百七十一

庫										兵											
金	漆	陶	麥稈真田其原料	花蓮及鼻表并其原料	染物	段通及油團	刺機	毛織及其交織物	麻織及其交織物	綿織及其交織物	絹織及其交織物	生葉	葉煙	葉藍	麻豆	大	麥	米	茶	繭	
一	二									四	一	二			三	六	四	一	八		
二	一	五								五	一	二	三		九	七	三	三	五		

二百七十一







表一覽

計	縣															
	醬	清	製	木	漆	製	竹	紙	金	漆	陶	麥	染	刺	機	麻
	油	酒	藍	蠟	汁	草	細工及指物	及其原料	屬器	器	磁器	稗其原料	花及原	通及油	圍	織及其交織物
一五	一	二														
一五	一	三														
二五	一	二														
四三	二	五														
六七	二															
一六五	七	二														

二百七十五

計	縣																			
	綿	絹	生	葉	葉	麻	大	麥	米	茶	繭	醬	清	製	木	漆	製	竹	紙	
	織及其交織物	織及其交織物	絲	草	藍	豆						油	酒	藍	蠟	汁	草	細工及指物	及其原料	
三一	一	一																		
四																				
二	二	一																		
五	一	二																		
七	一	二																		
二	二	三																		

二百七十四



愛										縣										
綿織及其交織物	絹織及其交織物	生葉	葉煙	葉草	麻藍	大豆	大麥	米	茶	蘭	計	醬油	清酒	製鹽	木蠟	漆汁	製造煙草	竹細工及指物	紙及其原料	
											六									
											二									
											二									
											四									
											四									
											一四二									
											二六二									
											二四二									
											二六二									

二百七十七

川										香											
金漆陶	屬磁器	麥稈真田其原料	花蒨及疊表并其原料	染物	段通及油團	刺繡	機具	毛織及其交織物	麻織及其交織物	綿織及其交織物	絹織及其交織物	生葉	葉煙	葉草	麻藍	大豆	大麥	米	茶	蘭	

二百七十六











奈							計	縣							
繭織及其交織物	生葉	葉	麻	大麥	米	茶		繭	醬	清	製	木	漆	製造	竹細工及指物
縮織及其交織物	煙	草	藍	豆				油	酒	蠶	汁	草		扇	燈
					一		四								
					一	三	八								
				一	二	三	一	一							
					三	八	一	二							
					二	〇	〇	四	三						
					二	三	一	一	〇						
					六	五	一	二	一						
					九	二	二	六	六						
					二	七	一	五	三						

二百八十三

山										岡									
金	漆	陶	麥稈	花蔴	染	段	刺	機	毛織	生	葉	葉	麻	大麥	米	茶	繭		
器	器	器	其原料	及其原料	物	團	織	具	物	絲	草	藍	豆						

二百八十二























コトヲ得

中國五縣聯合畜産共進會審査心得

一 審査ハ之ヲ三次ニ區別シ第一次ハ每縣總檢査第二次ハ各別審査第三次ハ比較審査トス

一 附點ハ各目ヲ十點ニ平等シ合數百點ヲ以テ滿點トス但シ牛ノ審査ニ於テハ體格性質ニ二十點ヲ附ス

一 賞與等級ニ對スル得點左ノ通定ム

- 一等 九十五點以上 四等 八十點以上
- 二等 九十點以上 五等 七十點以上
- 三等 八十五點以上 六等 六十點以上

一 附點用紙審査項目中頭部ニハ眼、耳、鼻、口、額、角ヲ包含シ體格性質ノ項ニハ飼育ノ良否、全形ノ均勢、皮毛ノ狀況（牝牛ニ於テハ乳房、乳頭、乳靜、脈、乳鏡ヲ含ム）等ヲ包含ス

一 附點用紙審査項目摘要欄内ニハ各局所ニ於ケル優劣ヲ説明スルモノトス  
一寸尺ハ年齡ニ依テ酌量スルヲ要ス

附點用紙ハ牛馬ヲ別ニシ牛ニ於テハ頭部、頸部、鬚甲肩胸垂肉、背腰、肋膜、十字臂、尾根尾着、四肢蹄步樣、體格性質ノ九項目トシ馬ニ於テハ頭部、頸部、鬚甲肩胸、背腰、肋膜、十字臂、尾肛門生殖器、四肢蹄步樣、體格性質ノ十項目トス但シ牛ニテハ性質、泌乳部ノ關係重キカ故ニ此ノ項目ニ二

十點ヲ附スルコト、爲シ馬ニテハ四肢、蹄步樣ノ關係重キヲ以テ之ヲ各目ニ分チタリ

抑モ府縣聯合共進會ハ去ル明治十四年以降其開設アリト雖何レモ農工産物又ハ水産物ヲ主トシタルモノニシテ未タ單獨ナル畜産聯合共進會ノ開設アリシヲ見ス本會ハ實ニ之レカ嚆矢タリ夫レ然リ未タ開設上ノ經歷ナキカ故ニ其狀況ヲ述フルニ對照比較スヘキモノナシト雖モ其出品總數五百餘人員四百九十餘ノ多キニ達シタルハ實ニ盛況ト言ハサルヲ得ス此盛況ヲ致スモノ他ナシ當局者ノ勸誘其宜シキヲ得タルニ由ルト雖モ亦タ當業者ノ斯業ニ熱誠ナルノ結果タラスンハアラス蓋シ本會ノ創設ハ斯業上一大步武ヲ進メタリト謂フヘシ

本會々場ノ位置タル其不便ナリシハ言ヲ俟タス會場ノ構造物ノ配置等多少間然スヘキ廉ナキニアラサルモ開設上特ニ支障アルヲ認メス會務ノ如キニ至リテハ創設ノ際幾多ノ不備アルニ拘ハラス能ク周尾ヲ完フシタルハ偏ニ事務員諸氏ノ協力勵精以テ調理其宜シキヲ得タルニ職由スルモノトス

審査上ノ弊害ハ何レノ共進會ニ於テモ之レヲ脱スルノ難キハ既往ノ事蹟ニ徴シテ明カナル所ナリ殊ニ明治三十二年第三回與羽六縣聯合共進會ニ於テハ牛馬ノ審査上弊害殆ント其極ニ達シタリ本會ニ於テハ斯ル弊害ニ徴シ審査ハ總テ官選審査官ノ分掌スル所トシ各縣選出ノ審査員ニハ干與セシメサルコトニ定メラレタルニ依リ審査官ハ其意ヲ體シ審査規程ニ則リ日夜勵精以テ公平ニ審査ニ從事シタル結果曩日憂慮シタル弊害ノ如キハ毫モ之レヲ耳ニスルコトナク極メテ圓滿ニ局ヲ結ヒ審査上遺憾ナキヲ得



タリ即チ審査ノ成績ニ依リテ出品者百七人ヲ選拔シ優等ノ擬賞ヲナシ且ツ別ニ本會規則第二十條ニ依リ斯業ニ關シ功勞成績アル者ヲ調査シ其顯著ナルモノ十名ヲ選拔シ功勞官及追賞ヲ稟請シタリ  
 因云各縣ヨリ選出シタル審査員ノ任務ハ審査長及審査官ヲ補助スルノ規定ニシテ審査ニ干與セサルモ審査ノ慎重ヲ期スルカ爲メ附點用紙又ハ其他ノ方法ヲ以テ各自ノ意見ヲ提出セシメ審査上ノ參考ニ供シタリ

出品各種ノ批評ニ至リテハ各審査官ノ復命書ニ詳悉スルヲ以テ茲ニ陳述スルノ要ナシト雖今出品牛馬ノ狀況ヨリ中國地方畜産改良ノ成績ニ就キ一言セントス中國ハ本邦第一ニ位スル産牛地ニシテ其關係恰モ産馬業ノ東北地方ニ於ケルカ如シ即チ馬匹ハ唯々鳥取縣ノ一部ト鳥根縣ノ一部及廣島縣ノ一小部ニ於テ産スルノミニシテ其他ハ悉ク産牛地トス宜ナリ本會ノ出品中馬匹ハ僅々約五十頭ニ過キサルモ其大半ハ畜牛ニシテ殆ント畜牛共進會ノ觀ヲ呈シ從ツテ其觀ルヘキモノ亦タ尠ナシトセス惟フニ聯合各縣ニ於ケル牛馬改良ノ方法未タ盡サ、ル所アリト雖其之レヲ努ムルヤ年アリ斯業ノ狀況之レヲ往日ニ比スレハ大ニ面目ヲ一新シ其結果タル今回出品ノ上ニ於テ映出セルヲ認ム

鳥取縣産馬ノ如キハ体格偉大相貌甚タ美ナリト雖均稱ヲ失フモノ少ナカラス四肢殊ニ後肢ノ孱弱ナルモノ多ク加之性質喧嘩惡癖アルヲ免カレス之レ種馬ノ選擇其當ヲ失ヒ馬匹管理其宜シキヲ得サルニ皈ス蓋シ當業者ノ意向ハ專ラ体ノ偉大ナルモノヲ良シトシ其均稱如何ニ至リテハ敢テ顧慮セサルモノ、

如シ之レ最モ注意ヲ要スルモノトス鳥根縣馬匹ハ多クハ隱岐産ナリ元來隱岐産馬ハ極メテ矮小ナレトモ四肢及蹄質堅牢加フルニ數年來ノ改良ニ依リ骨格稍々改善シタルモノ尠ナカラス体尺ノ如キモ四尺六七寸以上ノモノヲ産出スルニ至レリ殊ニ本縣ニ於テハ專ラ東北産ノ種馬ヲ輸入シ順次ノ改良ヲ目的トスルモノ、如シ現下改良馬匹ノ數未タ多カラサルモ此目的ニシテ貫徹スルニ至ラハ將來大ニ面目ヲ革ムルニ至ルヘシ併シ飼育祖傳ニシテ發育ヲ完フセサルモノ多キカ故ニ馬匹改善ヲ計ルト同時ニ其飼育管理法ノ改良モ大ニ注意セサルヘカラス廣島縣産馬ニ至リテハ多クハ他縣産ニ屬スルヲ以テ品評スルニ足ルモノナシト雖モ今後改良ノ方針ニ就テハ宜シク鳥取、鳥根兩縣下ノ事蹟ニ鑑ミルヲ要ス  
 畜牛ニ就テハ鳥根縣一部ノ如キハ最モ改良ノ顯著ナルヲ認ム即チ本縣産ノ「ブボン」雜種ノ出品百餘頭ノ多キニ達シ其形貌資質共ニ何レモ善ク原種ニ酷似シ其面目ノ一新セル超然人ノ視線ヲ惹ク所ナリ之レ專ラ雜駁ノ蕃殖ヲ避ケ克ク同一種類ヲ以テ其蕃殖ヲ繼續シタルニ皈セズンハアルヘカラス而シテ其用途ニ就テハ之レヲ一定スルコト難シト雖産犢ノ狀態ニ應シ或ハ乳用或ハ肉役用ト爲スコトヲ得ヘク加之將來此上ノ改良ニ向ツテ一ノ基礎即チ原種ヲ造リタリト謂フヘシ岡山縣ニ於テハ近年銳意以テ乳用牛ノ改良蕃殖ヲ計リ北海道ヨリ「ホルスタイン」及「エイヤシア」種牛ヲ購入スルコト數次ニ及ヒ今回ノ出品ニ於テ其成績稍々觀ルヘキモノアリト雖モ改良ハ尙ホ淺ク出品數少ナキヲ以テ未タ著シキ進歩ヲ認ムルニ至ラス今後幾多ノ年月ヲ重テ種類ノ混交ヲ防キ精勵改良ニ從事セハ地方特殊ノ面目ヲ呈







縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
山口縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二頭
鳥取縣	一	四	八	六	七	九	三七八頭
島根縣	三	八	六	六	五	三	二九一頭
計	五	八	一四	一六	二〇	三五	九六頭

馬受賞等級及縣別

縣名	一等	二等	三等	四等	五等	六等	計
廣島縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二頭
山口縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	一頭
鳥取縣	〇	〇	〇	〇	〇	〇	三頭
島根縣	〇	一	二	二	二	二	五頭
計	〇	一	二	二	二	二	一五頭

備考 廣島縣受賞馬二頭ハ鳥取縣產トス  
島根縣出品二等賞ノ分ハ鳥取縣產ニシテ他ノ四頭ハ隱岐國產トス

功勞賞及追賞人名

- 功勞賞 (各金二十圓)  
廣島縣 山奈政素  
岡山縣 岡山縣 追賞 (各金十五圓) 故太田辰五郎

- 鳥取縣 原弘業 廣島縣 故岩倉六右衛門  
同縣 長尾勘三郎 島根縣 故和田村吉  
島根縣 狩野半三郎 同縣 故村上祐九郎  
同縣 深津啓四郎 同縣 故梶谷啓次郎

右謹テ復命ス

第一回中國五縣聯合畜産共進會審査長

明治三十三年十一月

農商務大臣林有造殿

農商務技師 西川勝藏

牛審査復命書

第一回中國五縣聯合畜産共進會畜牛ノ出品ハ無慮四百五十四頭ノ多キニ達シ曩キニ數回ノ内國勸業博覽會ニ中國各縣ヨリ出陳セラレタル所ノ牛類ニ比スレハ蕃殖上大ニ改良ノ成績アリト雖トモ未タ一般ニ完全シタル最良牛ト確認スルコト能ハス今左ニ各縣ノ出品ニ就キ一々概評ヲ下タサン  
岡山縣 ヨリ出陳ノ牛數ハ本縣下ニ於テハ孰レモ優等ノモノニシテ性質溫良体貌優美ナルモ未タ充分ニ改良ヲ加ヘタルモノトハ斷言シ難シ殊ニ本縣下ニ産出スル所ノ内國種ノ常トシテ後半身ヨリモ前半身ノ重キハ最モ改良ヲ加ヘサルヲ得サルノ要點ナリ而シテ本會ニ出品ノ頭數ハ總計十九頭ニシテ其内純粹ノ「ホルスタイン」種「アキシヤ」種等ノ如キ多クハ北海道ノ産出ニ係ル純粹種トシテハ孰レ

牛審査復命書



モ体貌ト云ヒ乳鏡ト云ヒ最良ナルモノニアラスト雖トモ本縣下ニ産出スル所ノ内國種牛ニシテ未タ充分ニ人工ノ改良ヲ加ヘサル牛ニ比スレハ上位ナルニヨリ此血液ヲ以テ各郡内ノ牛ヲ蕃殖セハ幾分カ体貌肥大ニシテ改良ノ功ヲ奏スヘシト雖トモ今日ノ如ク數多洋種ノ純粹種ヲ一小地方ニ輸入シ之カ錯雜ノ蕃殖ヲ圖ルニ於テハ他日ハ岩手縣下ニ於ケル岩泉牛ノ如キ覆轍ノ結果ナカルヘカラス故ニ數多洋種ノ血液ニテ雜駁ナル種類ヲ産出セシムルノ目的ト手段トヲ探ルハ策ノ得タルモノニアラス今日ニシテ宜シク種類ヲ一定シ錯雜ニ陥ラケルヨウ注意スルヲ肝要ナリトス又本縣下ニ千屋牛ナルモノアリ此牛ハ我牛類中善良ニシテ殊ニ管理飼養ノ宜キモノニアリテハ優美ニシテ其体格恰モ平戸牛ノ善良ナルモノニ伴シ然レトモ平戸牛ヨリハ其体貌一層矮小ナリ頸頭ハ能ク軀幹ニ均稱シ四肢ハ強固ナレトモ体貌如何ニモ矮小ナルヲ以テ力量ニ肉量ニ乳量ニ乏シケレハ將來適當ノ種牛ヲ入レテ改良ヲ努ムルヲ要ス

廣嶋縣 ヨリ出陳ノ牛數ハ總計四拾五頭其内見ルヘキモノハ神石郡内ニ産出スル所ノ内國種中ノ幾分ナリトス元來内國種固有ノ牛ハ何レノ地方ヲ問ハス多クハ前半身肥大ニシテ其強剛ナルニ比シ後半身ノ細薄ニシテ軟弱ナルモノ、中ニ特リ神石牛ニアリテハ往々然ラサルモノアリ故ニ内國種トシテ他管下ノ牛ニ比スレハ本邦固有ノ不良ナル体貌ヲ一變シテ大ニ改良ヲ加ヘタルノ外觀ヲ呈ス毛色多クハ光澤アル艶美ノ黒色ニシテ筋剛皮軟性質頗ル温良ナリ本會ノ出陳ニ際シ官民トモニ能ク注意ヲ

加ヘ撰擇ヲ誤ラサルニ據ル所以ナランカ然レトモ今ニシテ宜シク將來ノ標的ヲ立テ、改良ノ策ヲ講スルニアラサレハ此上ノ完全ナル最良貴重ノ牛ヲ産スルコト難カラシ

山口縣 ヨリ出陳ノ牛數ハ十頭ニシテ其内ノ八頭ハ内國種ニ頭ハ洋和雜種ナリ多クハ他管下ノ産出ニ係ル故ニ本縣下ノ産出ニアラサル牛ナレハ單ニ幼犢ノトキニ購買セラレ之ヲ育成スルニ過キサカ爲メ將來ニ向テ改良ノ方法ヲ豫陳シ難シト雖トモ管理飼養ノ充分ナラサルカ爲メ性質ノ善良ナルモノニ乏シ故ニ本縣下ノ牛ヲ改良セントスルニハ主トシテ管理飼養ノ方法ヲ改良シ適當ナル種畜ヲ入レ併セテ將來ノ蕃殖改良ヲ圖ルヲ以テ順序トス

鳥取縣 ヨリ出陳ノ牛數ハ内國數ニシテ十七頭ナリ然レトモ此内多クハ祖先ニ短角種又ハ他ノ洋種ノ血液ヲ混入シ之レカ系統ヲ襲ケルモノト鑑定スルモノアリ概シテ飼養宜キカ爲メ皮膚柔軟ニシテ光澤アリ性質稍々温良ナルモノアリト雖トモ惜哉本縣ニ於テハ撰種其當ヲ失シ單ニ寸尺サヘ高ケレハ之レカ牛類ノ著シキ改良ヲナシタルモノ、如ク誤信シ種類ノ撰定ニ向テハ唯々夫レ寸尺ノ高キヲ貴フカ爲メ牛ニシテ牛ノ外貌タル特異ノ平均ヲ欠キ其甚シキニ至リテハ五尺以上ニ達セシモノ往々之レアリ是等ノモノニアリテハ殊ニ前半身高クシテ肩峯凸出シ肩胛ヨリ頸頭ニ及ホシテ肥肉ヲ存ス又其後半身ハ狭小ニシテ低キカ爲メ常歩ヲ失スルノ嫌アリ是等ハ從來矮小ナル内國種ニ比スレハ幾分カ肉量及ヒ力量アリト雖トモ外貌上ノ平均ヲ失フハ甚々遺憾トスル所ナリ之ニ反シ低キモノニアリ



テハ却テ最良ナルモノ往々之レアリト雖モ本縣下ニアリテハ前者ノ如キ外觀ノモノニアラサレハ貴ハス是故ニ此風ヲ矯正シ牛類ノ外貌ニ平均ヲ取ラシムルノ方法ニ則リ撰種ヲナスニアラサレハ此上ノ改良進歩發達ハ勿論体格ノ平均上ニ整備シタル良牛ヲ得ル能ハサルヘシ

島根縣 ヨリ出陳ノ牛數ハ三百餘頭ノ多數ナリ蓋シ本縣ハ産牛地方ナル上ニ主催縣ニシテ會場附近出陳ニ使ナルヲ以テナリ斯ル多數ノ出陳ニヨリ選種亦區々ニ涉リ体格ノ偉大ナルアリ輕小ナルアリテ其大ナルモノ、内ニハ体格外貌共ニ優秀性質温良ナルモノアリ然レトモ中ニハ四肢強固ナラス蹄質不良使役用トスルニ耐ヘサルモノアリ或ハ其小ナルモノ、内ノ牝牛ニアリテハ美貌ニシテ大ニ見ルヘキモノアリ、雖モ惜哉高尾形ヲ存シ尾根ノ附着充實ニシテ泌乳器ノ完全ナルモノ多カラス洋種ニアリテハ「デボン」種又ハ其雜種ニアリテハ最良ナルモノアルアリテ是等ノ體貌ハ能ク「デボン」種特異ノ体格タルノ平均ヲ得加フルニ性質温良皮毛ニ光澤アリテ大ニ賞スヘキモノアリ其他内國種ニアリテモ他ノ出陳ニ對シ頭數ノ多キニ據リ善良ナルモノアリト雖モ要スルニ一定ノ種畜ヲ選擇シ其體貌ヲ標的トナシテ而シテ其標的ニ及ホスノ改良進歩ヲ圖ルヘキ手段方法ヲ講スルコト最モ必要ナラン  
右謹ンテ復命ス

明治二十三年十一月六日

第壹回中國五縣聯合畜産共進會出品牛審査官

兵庫縣技師 鈴木 吳 一

第壹回中國五縣聯合畜産共進會出品牛審査官

從六位 村上 要 信

農商務大臣林有造殿

馬匹審査復命書

第一回中國五縣聯合畜産共進會出品ノ馬匹ハ鳥取、廣島、島根、山口四縣下ノ産ニシテ其數四十八頭ナリ之ヲ種別スレハ内國種三十七頭雜種十一頭ニシテ其内褒賞ニ與リシモノ總計十一頭ナリ左ニ其概要ヲ述ヘン

鳥取縣 本縣出品ノ馬ハ總數八頭ニシテ悉ク乗用雜種ニ屬セリ被毛纖密光澤ヲ有シ相貌頗ル美ニシテ頭頸稍輕ク體各部ノ均衡畧ホ其宜シキヲ得タルモノアリ優ニ他縣ノ出品馬ヲ凌駕スルニ足ヒリ然ルト雖トモ性質率ネ強暴ニシテ悍威強キニ過キ恰モ往時ノ薩摩馬ヲ見ルノ思アラシム且四肢就中後肢ノ薄弱ナルモノ多ク從テ歩様ノ善良ナラサルハ眞ニ遺憾トスル處ナリ思フニ當業者今少シク種馬ノ撰擇ニ注意シ飼養管理ノ改良ニ努メンニハ他日大ニ見ルヘキモノアルニ至ラン

廣島縣 出品總數四頭ニシテ内二頭ハ鳥取縣産ニシテ一頭ハ隱岐國産ニ屬シ本縣産ノモノハ僅々一頭ニ過キヌ而シテ鳥取縣産ニ屬スルモノハ乗用雜種ニシテ其相貌體格並ニ其欠點トスル處同縣出品馬



ト其趣ヲ同セリ而シテ本縣產ニ屬スルモノハ性質溫良ナリト雖トモ相貌美ナラス體格稍薄弱殊ニ尻  
臀ノ斜ニ過クルヲ認ム

島根縣 出品頭數二十五頭内雜種ト認ムヘキモノ一頭ニシテ隱岐產馬其多數ヲ占メ數頭ノ仁多產馬及  
三瓶地方ノ產馬之ニ加レリ其出品ノ多數ナル當業者ノ熱心頗ル嘉スヘシト雖概シテ出品ノ整一ナラ  
サルハ蓋シ改良日猶淺キニヨルナラン而シテ本縣出品中見ルニ足ルヘキモノハ南部產種馬ヲ以テ改  
良シタル數頭ノ隱岐產馬トス其相貌美ナラスト雖體格稍其均衡ヲ得四肢比較的堅牢ニシテ頗ル強健  
ノ風アリ爾余ノ大半ハ其發育ノ全カラサルト飼育法ノ宜シキヲ得サルトヲ以テ見ルニ足ルヘキモノ  
多カラサルハ頗ル遺憾トスル處ナリ然リ而シテ是等出品中ニハ垢屑皮上ニ堆積シ且毛端蛇卵ヲ附着  
シ一見野馬ノ觀ヲ呈スルモノ少ナカラサリシハ以テ皮膚ノ管理ニ意ヲ用ルノ薄キヲ窺知スルニ足レ  
リ然リト雖退ヒテ沈思熟考スル時ハ隱岐產ノ馬ハモト體尺四尺未滿ノ矮馬ニシテ其今日ノ如キ大馬  
ヲ生産スルニ至ラシメタル所以ノモノ職トシテ之レカ改良ニ銳意努メタルニアラスンハ何ンソ如此  
ニ至ルヲ得ンヤ其實蹟ノ歷々タル頗ル見ルニ足レリ當業者幸ニ其改良ヲ怠ルナクンハ其成績更ニ今  
日ニ倍蓰スルモノアルニ至ラン

山口縣 出品頭數僅ニ一頭ニ過キサレヲ以テ未タ其全班ヲトスルニ足ラス  
之ヲ要スルニ今回出品中優秀ナルモノハ鳥取縣產ニ屬スルモノニシテ島根縣產之ニ亞ケリ而シテ一般

ノ狀況之ヲ昔日ニ鑑ミレハ頗ル改良進步ヲ徵スルニ足ルモノアリト雖之ヲ與羽並ニ九州地方ノ斯業ニ  
比較スル時ハ遙カニ幼稚ニシテ前途大ニ改良ノ餘地ヲ存スルモノト謂ハサル可ラス當業者タルモノ宜  
シク種馬ヲ精選シ飼育管理ノ改良ヲ怠ルナクンハ庶幾クハ其目的ヲ達スル蓋シ遠キニアラサルヘシ  
右謹テ復命ス

明治三十三年十一月五日

第壹回中國五縣聯合畜產共進會出品馬審査官

種馬所技師 湯 地 彦 二

第壹回中國五縣聯合畜產共進會出品馬審査官

從 六 位 村 上 要 信

農商務大臣林有造殿

附

第一回中國五縣聯合畜產共進會規則

第一章 總 則

第一條 本會ハ岡山、廣島、山口、鳥取、島根五縣聯合シ明治三十三年十月三日ヨリ同月九日マテ日數七

日間島根縣安濃郡佐比賣村大字志學ニ於テ開設ス

第二條 本會ノ出品ヲ分チテ左ノ三區トス

第一回中國五縣聯合畜產共進會規則



第一區 牛

第二區 馬

第三區 參考部

第一類 牛(第三條規定以外ノモノ)

第二類 馬(同上)

第三類 製乳

第四類 器具 機械 雛形ノ類

第五類 圖書 寫真 統計表 設計書 調査書ノ類

第三條 第一區第二區ノ出品ハ聯合縣内ノ産ニシテ左記ノ年齢以内ノモノトス

馬三歳以上 八歳以下

牛二歳以上 七歳以下

第二章 出品

第四條 出品人ハ本籍寄留ヲ問ハス聯合縣内ニ於テ牛馬ノ生産ヲ業トスル者又ハ牛馬ヲ飼養スル者ニ

シテ其ノ出品動物ハ自家ノ生産ニ係ルモノ若クハ買受讓受後一ケ年以上ヲ經タルモノニ限ル

但參考品ハ本文ノ限ニアラスト雖其性質ニ依リ出品ヲ拒絶スルコトアルヘシ

第五條 出品セントスル者ハ別紙書式ノ出品目錄二通及解説書一通ヲ製シ明治三十三年七月三十一日

マテニ戸長役場町村役場及島廳郡役所市役所ヲ經テ所轄縣廳ヘ差出スヘシ

第六條 前條目錄及出品解説書ハ所轄縣廳ニ於テ調査シ各一通ヲ明治三十三年八月三十一日マテニ本

會事務所ヘ送付スヘシ

第七條 出品ハ明治三十三年十月二日午後會場ヘ搬入シ同月九日閉場後ニ搬出スヘシ

但牛馬ヲ外泊セシメント欲スルモノアルトキハ出品人ノ企望ニ依リ特ニ許可スルコトアルヘシ

第八條 出品ハ本會ニ於テ保護ヲナスヘシト雖モ疾病其ノ他避クヘカラサル事故ニ由リ斃死、紛失破

損シタルトキハ本會其ノ資ニ任セス

第九條 疾病ニ罹リタル牛馬ハ其ノ出品ヲ拒絶シ又ハ病厩ニ移シテ治療セシムルコトアルヘシ

第十條 出品ニ對シテハ看守人ヲ附スヘシト雖モ牛馬出品人ハ相當看護者ヲ附スルヲ要ス

第三章 會場

第十一條 會場ハ毎日午前九時ニ開キ午後五時ニ閉ツ但時宜ニ依リ伸縮スルコトアルヘシ

第十二條 出品ノ陳列場、看守人、飼料ハ本會之ヲ辨ス

但飼料ノ種類及分量ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 出品ニハ本會ヨリ交付スル票札ヲ附スヘシ



第十四條 出品中賣買約定済ノモノハ本會ヨリ交付スル約定済ノ票紙ヲ付スヘシ

第十五條 賣買約定済ノ出品ハ閉會後ニアラサレハ之ヲ買主ニ引渡スコトヲ得ス

第四章 審査

第十六條 出品ノ審査ハ明治三十三年十月三日ヨリ六日マテニ結了スヘキモノトス

但三區ノ出品ハ審査ヲ加ヘス

第十七條 出品人ハ再審査ヲ請ヒ授與ノ褒賞ヲ拒ミ又審査ノ決定ニ對シ異議ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第五章 褒賞

第十八條 出品優等ノモノニハ左ノ等級ニ從ヒ褒賞ノ授與ヲ農商務大臣ニ請フモノトス

壹等 貳等 參等 四等 五等 六等

第十九條 一人ニシテ每區ニ出品シ其ノ出品優等ナルトキハ其ノ區ニ於テ各褒賞ヲ得ヘシト雖モ一區

内數種ヲ出スモノ、賞品ハ其ノ内優等ナルモノ一種ニ限ルヘシ

但一區内ト雖トモ種類ノ異ナルモノニシテ優等ニ位スルモノアルトキハ特ニ相當ノ賞狀ノミヲ授

與セラル、コトアルヘシ

第二十條 牛馬ノ改良繁殖ニ關シ特別ノ功勞アルモノハ其ノ人ノ存亡ニ拘ハラズ特ニ功勞賞ヲ授與セ

ラル、コトアルヘシ

第二十一條 褒賞授與式ハ明治三十三年十月八日午前十時之ヲ行フ

第六章 參觀

第二十二條 本會開會中ハ毎日午前九時ヨリ午後五時マテ衆庶ノ參觀ヲ許ス

但入場料ヲ要セス

第二十三條 瘋癲又ハ醉狂其ノ他妨害ノ恐レアリト認ムルトキハ入場ヲ拒絕シ或ハ場外ニ退去セシム

ルコトアルヘシ

第二十四條 出品ニアラサル畜類ヲ引連レ入場スルヲ許サス

第二十五條 參觀人ハ看守人又ハ持主ノ承諾ヲ得ルニアラサレハ出品ニ手ヲ觸ル、コトヲ得ス

第二十六條 出品ヲ購賣セントスルモノハ看守人ヲ經テ持主ニ申入ルヘシ

第七章 事務

第二十七條 本會ハ事務所ヲ設ケ左ノ職員ヲ置ク

事務長 審査長 事務委員長 審査官

事務委員 審査員 書記

第二十八條 事務長ハ主催縣ノ知事ヲ以テ之ヲ充ツ

事務長ハ本會一切ノ事務ヲ統理シ事故アルトキハ事務委員長ニ代理セシメ又ハ事務ノ幾部ヲ委任ス



ルコトアルヘシ

第二十九條 審査長及審査官ハ農商務省ヨリ派遣ヲ請フモノトス

審査長ハ出品審査ニ關スル諸規程ヲ定メ審査事務ヲ統理ス

審査官ハ審査長ノ指揮ヲ受ケ審査事務ヲ分掌ス

第三十條 事務委員長ハ主催縣ノ書記官ヲ以テ之ニ充ツ

事務委員長ハ事務長ノ指揮ヲ受ケ庶務ヲ調理ス

第三十一條 審査員ハ五名トシ聯合各縣知事其ノ一名ヲ選定ス

審査員ハ審査長及審査官ノ指揮ヲ受ケ審査ヲ補助ス

第三十二條 事務委員ハ聯合各縣委員ヲ以テ之ニ充ツ

事務委員ハ事務長及事務委員長ノ指揮ヲ受ケテ庶務ヲ分掌ス

第三十三條 書記ハ事務長之ヲ選任ス

書記ハ事務委員ノ指揮ヲ受ケ記録計算等ノ庶務ニ従事スルモノトス

出品目録書式(用紙半紙)式通

出品目録

何縣何市何町大字何番地

出品人 氏 名

第何區(牛)(馬)

番	號	名	稱	種	類	牝	牡	生	年	月	又	毛	色	產	地	寸	尺	買	價

計 頭

右之通ニ候也

明治三十三年 月 日

第一回中國五縣聯合畜產共進會事務所

御 中

(備考)

賣却セサル出品ハ賣價ノ欄(非賣品ト記入スヘシ

參考品出品目録書式(用紙半紙)二通

第一回中國五縣聯合畜產共進會規則



何縣何市何町大字何番地  
出品人 氏 名 印

第何區何類

番 號	物 名	數 量	製造者、生產者、著述者、設計者住所氏名	賣 價

計 點

右之通ニ候也

明治三十三年 月 日

第一回中國五縣聯合畜產共進會事務所

御 中

出品解說書式(用紙半紙)壹通

解 說 書

第何區(牛)(馬)

番 號	物 名	種 類	年 齡	牝 牡	毛 色	出 品 人	何縣何市何町大字何番地	職 業 名	氏 名 印

一產地

一血統

一用途

一現在畜養頭數及明治三十三年中生產頭數

一明治三十二年中販賣頭數及價額

一褒賞ノ有無

右之通相違無之候也

明治三十三年 月 日

參考品解說書式(用紙半紙)一通

第何區何類

第一回中國五縣聯合畜產共進會規則



番	號	物	名	種	類	出品	人	前	同	シ
---	---	---	---	---	---	----	---	---	---	---

製造者、販賣者、生産者、著述者、設計者等ノ住所氏名  
 一出品ノ要旨  
 一褒賞ノ有無  
 右之通相違無之候也

明治三十三年 月 日

褒賞一覽表

縣	山岡	廣島	出品種類
	計馬牛	計馬牛	一等賞
			二等賞
			三等賞
			四等賞
			五等賞
			六等賞
			合計

山岡	廣島	山口	鳥取	島根	合計
計馬牛	計馬牛	計馬牛	計馬牛	計馬牛	合計
					六三   三二   一一
					一〇五   一四   一一
					一四九   一八   一一
					一八六   六五   一四
					二三九   二七   一一
					三七〇   一九   一一   二   一一
					一〇六   五七   一一   三   八   三一   二

功勞賞及追賞一覽表

功勞賞	追賞	合計	縣
			岡山縣
			廣島縣
			山口縣
			鳥取縣
			島根縣
			合計



明治三十四年三月廿四日印刷  
同 年三月廿七日發行

# 農商務省總務局人事課

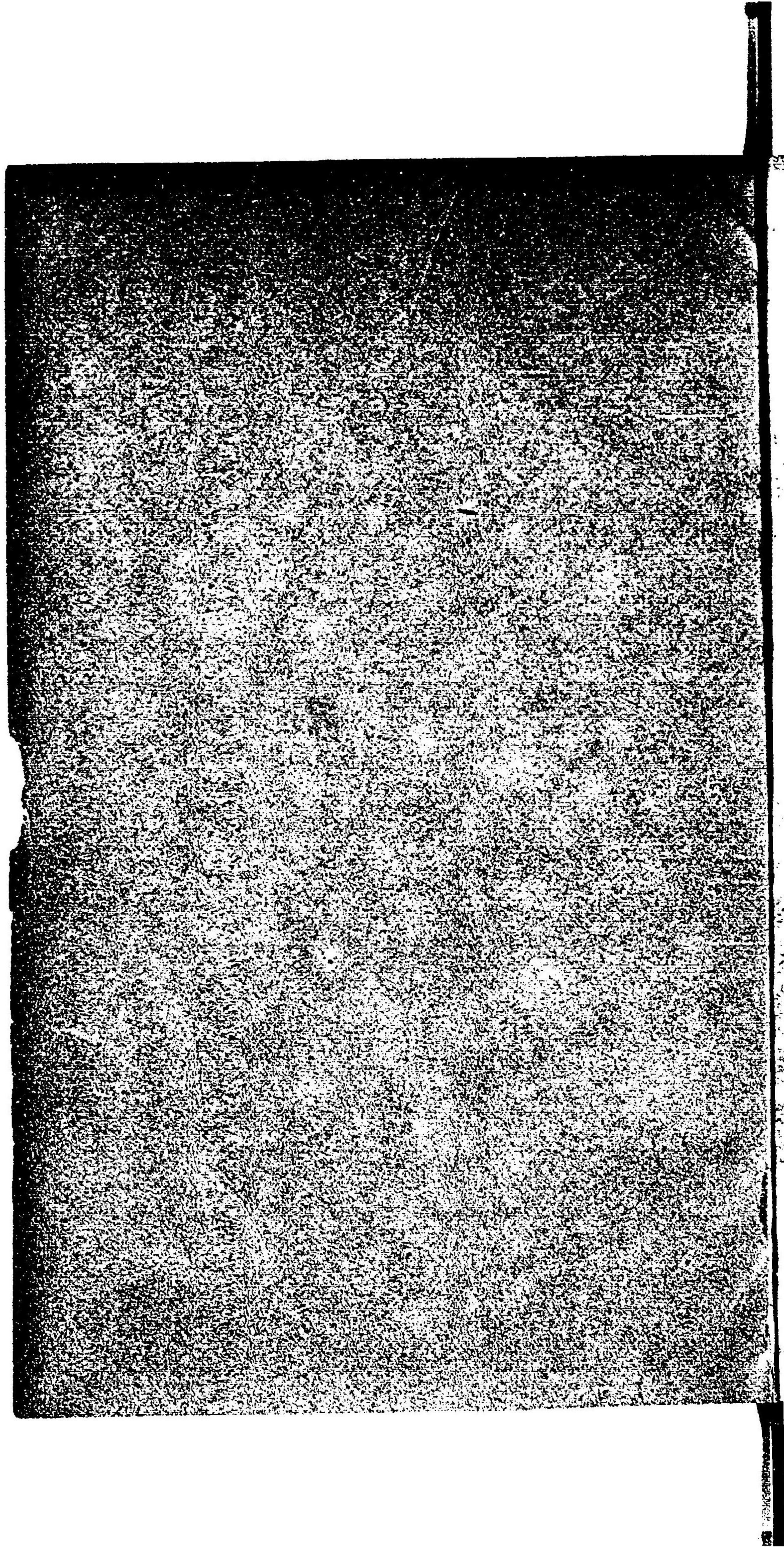
京橋區山城町六番地

印刷者 堀田道貫

(電話新橋二七七番)

印刷所 全所 堀田印刷所

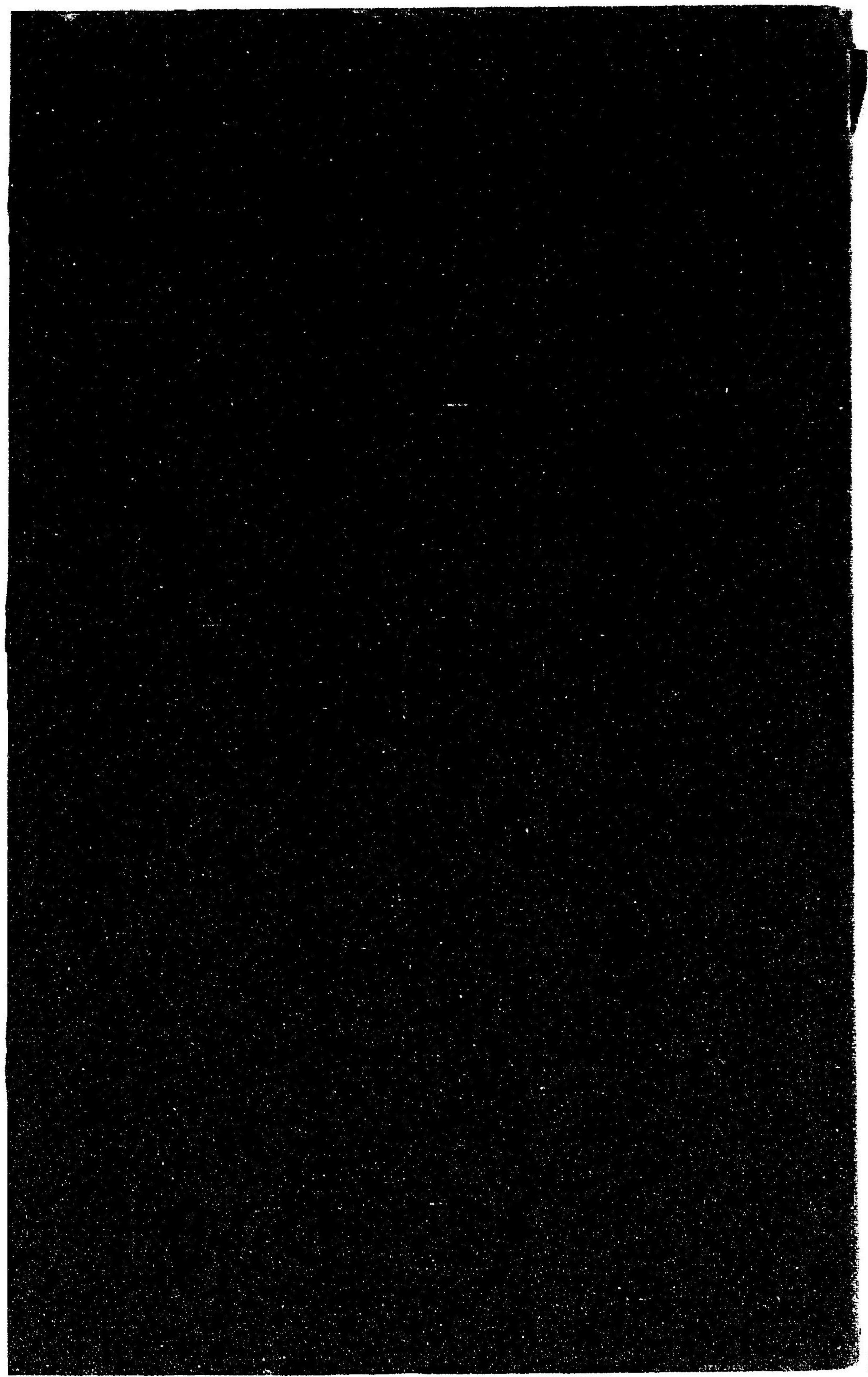






59  
56







79

68

(M)



